

健康部

| | |
|----------------|------|
| 概要 | Ⅶ-1 |
| 沿革 | Ⅶ-1 |
| 人口動態の動向 | Ⅶ-1 |
| 保健所運営協議会 | Ⅶ-4 |
| 安心の地域医療検討委員会 | Ⅶ-4 |
| 地域救急医療対策協議会 | Ⅶ-8 |
| 各種統計・報告 | Ⅶ-8 |
| 免許の申請・書き換え交付状況 | Ⅶ-9 |
| 病院・診療所立入検査 | Ⅶ-9 |
| 衛生検査所立入検査 | Ⅶ-10 |
| 医務 | Ⅶ-10 |
| 「1日看護体験」の実施 | Ⅶ-10 |
| 献血事業 | Ⅶ-11 |
| 骨髄バンク事業推進 | Ⅶ-11 |
| 応急診療所事業 | Ⅶ-12 |
| 歯科医療センター事業 | Ⅶ-12 |
| 学生実習 | Ⅶ-13 |
| 母子保健事業 | Ⅶ-14 |
| 予防接種事業 | Ⅶ-19 |
| 成人保健事業 | Ⅶ-22 |
| 栄養指導事業 | Ⅶ-29 |
| 食育推進ネットワーク事業 | Ⅶ-30 |
| 三重北勢健康増進センター事業 | Ⅶ-31 |
| 食品衛生 | Ⅶ-33 |
| 獣医務衛生 | Ⅶ-38 |
| 生活衛生 | Ⅶ-39 |
| 薬務 | Ⅶ-40 |
| 結核対策 | Ⅶ-42 |
| 地域精神保健福祉対策 | Ⅶ-46 |
| 難病対策 | Ⅶ-53 |
| 感染症対策 | Ⅶ-56 |
| エイズ対策 | Ⅶ-59 |
| 医療費助成 | Ⅶ-60 |
| 食肉検査 | Ⅶ-61 |
| 試験検査 | Ⅶ-62 |
| 衛生検査 | Ⅶ-63 |
| 国民健康保険 | Ⅶ-66 |
| 後期高齢者医療制度 | Ⅶ-70 |
| 国民年金 | Ⅶ-71 |

概 要

平成 19 年 10 月 21 日に保健所政令市に関する政令が公布され、保健所の設置が承認されました。所管区域は、本市の行政区域であり、これまで市が行ってきた母子保健、成人保健、老人保健などの業務に加え、三重県が行ってきた精神保健、難病、感染症、結核、食品衛生、医務、薬務、生活衛生などの、より専門的な業務を担当することとなりました。それにより医療、福祉、教育などと連携した総合的な保健衛生行政を効果的に推進し、市民のニーズに応じたきめ細かい保健衛生サービスができることとなりました。

沿 革

| 年 月 日 | 事 項 |
|-------------------|---|
| | 【主な経緯】 |
| 平成 17 年 2 月 7 日 | 楠町との合併により、中核市要件を満たす |
| 平成 19 年 10 月 21 日 | 保健所政令市の指定に関する政令の公布（本市保健所の設置承認） |
| 平成 20 年 4 月 1 日 | 保健所政令市に移行し、健康部が創設され、保健所業務を開始する |
| 平成 21 年 9 月 24 日 | 保健所事務部門を県四日市庁舎より四日市市総合会館へ移設 食肉衛生検査所を保健所組織へ統合し、食品衛生検査所とする |

（注）平成 25 年 4 月 1 日 機構改革組織変更に伴い健康福祉部内に保健所を設置し、母子保健については、子ども未来部の所管となった。

人口動態の動向

1) 人口動態件数及び率（平成 21・22・23 年確定数）

人口：10月1日現在

| 年 次 | 人口 (人) | 出 生 | | 死 亡 | | 乳 児 死 亡 | | 新 生 児 死 亡 | |
|---------|-----------|----------|-------------|-------|-------------|---------|-------------|-----------|-------------|
| | | 数 (人) | 率 (人口千対) | 数 (人) | 率 (人口千対) | 数 (人) | 率 (出生千対) | 数 (人) | 率 (出生千対) |
| 平成 21 年 | 314,577 | 2,775 | 9.0 | 2,404 | 7.8 | 8 | 2.9 | 3 | 1.1 |
| 平成 22 年 | 314,393 | 2,768 | 9.0 | 2,764 | 9.0 | 6 | 2.2 | 2 | 0.7 |
| 平成 23 年 | 314,393 | 2,763 | 9.0 | 2,861 | 9.3 | 10 | 3.6 | 5 | 1.8 |

| 年次 | 死 産 | | 周 産 期 死 亡 | | 婚 姻 | | 離 婚 | | 合計特殊 出生率 ※1 |
|---------|----------|-------------|-----------|-------------|----------|-------------|----------|-------------|-------------------|
| | 数 (人) | 率 (出産千対) | 数 (人) | 率 (出産千対) | 数 (件) | 率 (人口千対) | 数 (件) | 率 (人口千対) | |
| 平成 21 年 | 76 | 26.7 | 10 | 3.6 | 1,868 | 6.1 | 601 | 2.0 | 1.42 |
| 平成 22 年 | 61 | 21.6 | 10 | 3.6 | 1,826 | 5.9 | 608 | 2.0 | 1.47 |
| 平成 23 年 | 72 | 25.4 | 13 | 4.7 | 1,741 | 5.7 | 581 | 1.9 | 1.51 |

※1：合計特殊出生率とは、女子の年齢別出生率の合計で1人の女子がその年次の年齢別出生率で一生涯の間に生むとした時のこども数を表します。

$$\text{合計特殊出生率} = \left\{ \frac{\text{母の年齢別出生数}}{\text{年齢別女子人口}} \right\} \text{ 15歳から49歳までの合計}$$

2) 主要死因別死亡者数・年齢調整死亡率

平成 23 年確定数

| | 男 (人) | 女 (人) | 計 (人) | 割合 (%) | 年齢調整死亡率 (人口 10 万対) ※1 |
|----------|----------|----------|----------|-----------|--------------------------|
| 全死因 | 1,547 | 1,314 | 2,861 | 100 | 422.40 |
| 結核 | 3 | 1 | 4 | 0.1 | 0.45 |
| 悪性新生物 | 490 | 318 | 808 | 28.2 | 134.43 |
| 糖尿病 | 22 | 16 | 38 | 1.3 | 5.35 |
| 高血圧性疾患 | 4 | 10 | 14 | 0.5 | 1.64 |
| 心疾患 | 210 | 194 | 404 | 14.1 | 56.29 |
| 脳血管疾患 | 157 | 145 | 302 | 10.6 | 39.70 |
| 大動脈瘤及び解離 | 24 | 10 | 34 | 1.2 | 4.37 |
| 肺炎 | 141 | 122 | 263 | 9.2 | 30.98 |
| 慢性閉塞性肺疾患 | 29 | 11 | 40 | 1.4 | 4.66 |
| 肝疾患 | 11 | 19 | 30 | 1.0 | 4.97 |
| 腎不全 | 23 | 30 | 53 | 1.9 | 6.35 |
| 老衰 | 43 | 120 | 163 | 5.7 | 15.15 |
| 不慮の事故 | 60 | 29 | 89 | 3.1 | 16.09 |
| 自殺 | 37 | 12 | 49 | 1.7 | 13.61 |
| 交通事故 | 11 | 5 | 16 | 0.6 | 3.09 |
| その他 | 282 | 272 | 554 | 19.4 | |

(※小数点第 2 位で四捨五入しているためパーセントの合計が 100.0%にならない場合があります)

※ 1 : 年間調整死亡率とは、年齢構成が著しく異なる人口集団の間での死亡率や、特定の年齢層に偏在する死因別死亡率などについて、その年齢構成の差を取り除いて比較する場合に用いるもの。これを標準化死亡率という場合もあります。基準人口としては昭和 60 年モデル人口を用いています。

$$\text{年齢調整死亡率 (旧訂正死亡率)} = \frac{\left\{ \left[\begin{array}{l} \text{観察集団の各年齢} \\ \text{(年齢階級)の死亡率} \end{array} \right] \times \left[\begin{array}{l} \text{基準人口のその年齢} \\ \text{(年齢階級)の人口} \end{array} \right] \right\} \text{の各年齢 (年齢階級) の総和}}{\text{基準人口の総和}}$$

3) 悪性新生物（がん）部位別死亡者数

平成 23 年確定数

| 部位別 | 男（人） | 女（人） | 計（人） |
|-----------------|------|------|------|
| 食道 | 19 | 4 | 23 |
| 胃 | 77 | 35 | 112 |
| 結腸 | 41 | 32 | 73 |
| 直腸 S 状結腸移行部及び直腸 | 15 | 11 | 26 |
| 肝及び肝内胆管 | 39 | 28 | 67 |
| 膵 | 33 | 30 | 63 |
| 気管、気管支及び肺 | 132 | 52 | 184 |
| 乳房 | — | 21 | 21 |
| 子宮 | — | 9 | 9 |
| 白血病 | 12 | 7 | 19 |
| その他 | 122 | 89 | 211 |
| 合計 | 490 | 318 | 808 |

4) 低出生体重児数

平成 23 年確定数

| | 男（人） | 女（人） | 計（人） |
|-------------------|------|------|------|
| 総数（人） | 130 | 124 | 254 |
| 1.0 kg未満 | 6 | 1 | 7 |
| 1.0 kg以上～1.5 kg未満 | 9 | 3 | 12 |
| 1.5 kg以上～2.0 kg未満 | 28 | 15 | 43 |
| 2.0 kg以上～2.5 kg未満 | 87 | 105 | 192 |

保健所運営協議会

地域保健及び保健所の運営に関する事項について検討を行い、今後の保健所の運営に反映していく目的で協議会を開催しました。

| 回数 | 開催日 | 議 事 |
|-----|------------|---|
| 第1回 | 平成24年7月30日 | 1. 平成23年度 保健所事業実績報告について 2. 健康づくり計画平成23年度進捗状況について 3. 保健医療推進プラン策定について |
| 第2回 | 平成25年3月25日 | 1. 平成25年度機構改革について 2. 平成25年度四日市市医療・保健関連事業について 3. 保健医療推進プラン策定について |

安心の地域医療検討委員会

1) 四日市市安心の地域医療検討委員会

在宅医療を中心とした地域医療の推進について積極的に取り組むべく検討を行いました。

| 回数 | 開催日 | 議 事 |
|-----|------------|---|
| 第1回 | 平成24年7月3日 | 1. 議事 (1) 平成24年度開催の部会及びワーキングについて (2) 「四日市市保健医療推進プラン（仮称）」の策定について (3) 平成24年度実施事業について ○訪問看護師養成事業 ○在宅医療啓発活動事業 ○訪問看護ステーション設立補助関係 ○在宅介護支援センターへ医療職の配置 ○平成24年度緩和ケアに携わる医師の研修 |
| 第2回 | 平成25年3月22日 | 1. 報告 (1) 四日市市保健医療推進プラン(案)について (2) 平成24年度開催の部会及びワーキングについて (3) 平成24年度実施事業について 2. 議事 (1) 平成25年度事業について 3. その他 (1) 委員からの情報提供 |

2) 在宅緩和ケア推進部会

各医療機関での緩和ケアの取り組み及び緩和ケア研修の開催実態を把握し、平成25年度に実施する福祉関係者向けの緩和ケア研修について検討を行いました。

| 回数 | 開催日 | 議 事 |
|-----|------------|---------------------------------|
| 第1回 | 平成24年10月2日 | 1. 議事 (1) 福祉職向け緩和ケア研修の検討について |
| 第2回 | 平成24年12月4日 | 〃 |

3) 医療と介護の連携推進部会

介護施設に対し医療対応及び看取りの状況についてアンケートを実施し、レスパイト及び介護施設の看取り率向上に向けた検討を行いました。

| 回数 | 開催日 | 議 事 |
|-----|------------|---------------------|
| 第1回 | 平成24年9月19日 | 1. 議事 アンケート項目の検討 |
| 第2回 | 平成25年3月12日 | アンケート結果の報告、今後について検討 |

4) 市民啓発推進部会

市民の在宅医療や緩和ケアなどについての理解を深めるため、安心の地域医療検討委員会の部会として市民啓発推進部会を設置し市民が必要とする情報及びその情報の提供方法について検討しました。

| 回数 | 開催日 | 議 事 |
|-----|-------------|---|
| 第1回 | 平成24年7月31日 | 1. 議事 講演開催のシステム構築の検討 |
| 第2回 | 平成24年9月10日 | (1) 講師派遣手順の確認 (2) 共通ツールの作成 |
| 第3回 | 平成24年10月29日 | (1) 講師派遣手順の確認 (2) 共通ツールの確認 (3) 講演会の開催（デモンストレーション）について |

5) 在宅医療の後方支援検討ワーキング

在宅医療を担っている医療関係者を支える後方支援の体制を検討しました。

| 回数 | 開催日 | 議 事 |
|-----|------------|--|
| 第1回 | 平成24年8月6日 | 1. 議事 (1) 四日市医師会の考え方及びアンケート結果 |
| 第2回 | 平成25年2月26日 | (1) 医療材料の分割販売について（報告） (2) 強化型在宅療養支援診療所について（報告） (3) 在宅医支援病床確保事業について（平成25年度事業） |

6) 看取りガイド作成ワーキング

安心して住み慣れた地域で療養生活を送り、そして最期を迎えられるよう症状変化やその対応等を医療・福祉関係者が家族への説明時に共有して使用できる冊子「旅立ちに向けて」を作成しました。

| 回数 | 開催日 | 議 事 |
|-----|------------|--------------------------------------|
| 第1回 | 平成24年7月2日 | 1. 議事 (1) 看取りガイド(仮称)骨子への意見 |
| 第2回 | 平成24年8月1日 | (1) 看取りガイド(仮称)のタイトル候補 (2) 内容修正の検討 |
| 第3回 | 平成24年8月27日 | (1) 「旅立ちに向けて」修正 |

7) 訪問看護師養成事業

訪問看護ステーションの慢性的な看護師不足を解消するため、現役看護師や潜在看護師に向けて訪問看護について学習するための講座を開催しました。

(1) 開催日・場所

平成24年9月4日～平成24年12月20日

9:00～16:00(1日6時間)週2回

四日市看護医療大学

(2) 参加者

全日程受講生 6名

選択科目受講生 17名

計 23名

8) 在宅医療啓発活動補助事業

在宅医療の啓発を行う市民活動について経費の一部を補助しました。

| 事業 | 主催者 | 講演日・会場・参加者数 | 講師 |
|---|--------------------|---|---|
| 在宅医療のすすめ ①在宅医療の現在の考え方について ②在宅医療を実践している医師よりその実際を学ぶ | 三重西連合自治会 | ①平成24年5月26日 参加者35名 ②平成24年6月23日 参加者45名 ともに三重西小学校開放教室 | ① あこぎ循環器内科クリニック院長 加藤尚久氏 ② いしが在宅ケアクリニック 伊藤由恵氏 |
| 在宅医療のすすめ～人生の終わりを住み慣れたやで迎えるためには～ | 山城町自治会 | 平成24年10月28日 山城町公民館 参加者約70名 | いしが在宅ケアクリニック 院長 石賀丈士氏 |
| 人の命をどう看取るか? | 三重地区社会福祉協議会三重北校区支部 | 平成24年11月10日 三重北小学校開放教室 参加者約30名 | 船戸クリニック 院長 船戸崇史氏 |

| | | | |
|----------------------------|-------------------------|--|---|
| 「在宅医療とは」～在宅医療の今までとこれから～ | 川島地区福祉教室 実行委員会 | 平成 24 年 12 月 9 日 川島地区市民センター 参加者約 50 名 | いしが在宅ケアクリニック 院長 石賀丈士氏 |
| いのちをテーマにした5本の映画会 | 四日市男女共同参画研究所 | ①平成 24 年 9 月 11 日 ②平成 24 年 10 月 9 日 ③平成 24 年 10 月 19 日 ④平成 24 年 11 月 16 日 ⑤平成 24 年 12 月 21 日 参加者各回約 400 名 | ① 9 月 11 日 ② ヤング@ハート ③ いのちの作法 ④ 医（いや）す者として ⑤ エンディング・ノート |
| 「在宅ホスピスを知らせよう」～心の宝箱から伝えたい～ | 明日の地域医療を考える住民の会 あした葉 | 平成 25 年 1 月 14 日 文化会館第 2 ホール 参加者約 350 名 | ふじ内科クリニック院長 内藤いづみ氏 |
| 在宅医療と四日市の現状について | 海蔵地区連合自治会 | 平成 25 年 2 月 13 日 海蔵地区市民センター 参加者 76 名 | いしが在宅ケアクリニック 院長 石賀丈士氏 |
| 高齢者が元気で暮らせるための正しい薬の知識 | 桜地区社会福祉協議会 桜ボランティア協会 | 平成 25 年 2 月 23 日 桜地区市民センター 参加者約 80 名 | 藤戸薬局 藤戸健司氏 |
| 在宅医療の今とこれから | 笹川団地高齢者の集い | 平成 25 年 3 月 15 日 UR 笹川団地中央第 1 集会所 参加者約 80 名 | 笹川内科胃腸科 院長 山中賢治氏 |

9) 市民向け講演会

四日市市の在宅医療をひろく市民へ啓発するために講演会等を開催しました。

| 回数 | 講演日・会場 | テーマ及び講師 |
|-------|---|--|
| 第 1 回 | 平成 24 年 5 月 11 日 文化会館第 2 ホール 参加者約 300 名 | 「大震災と在宅ケア」（国際生活機能分類による危機管理） 仙台往診クリニック院長 川島孝一郎氏 |
| 第 2 回 | 平成 25 年 2 月 2 日 文化会館第 1 ホール 参加者約 1500 名 | 「いのちの対話 in よっかいち」 諏訪中央病院名誉院長 鎌田實氏 アナウンサー 村上信夫氏 |
| 第 3 回 | 平成 25 年 3 月 17 日 総合会館 8 階 視聴覚室 参加者約 90 名 | 「身近な場所で医療関係者の話を聞いてみませんか？」 四日市医師会 淵田則次氏 四日市歯科医師会 斎藤政夫氏 四日市薬剤師会 藤戸健司氏 |

地域救急医療対策協議会

1) 四日市地域救急医療対策協議会

四日市地域内の救急搬送及び救急医療体制の充実強化を図るため、関係機関等が協議し、地域の実情に即した体制の整備の推進を図るとともに、感染症などの健康危機事例発生時に迅速かつ的確に対処できるよう、平常時からの連携体制を確保することを目的として協議会を開催しました。

| 回数 | 開催日 | 議 事 |
|-----|-----------|---|
| 第1回 | 平成24年8月2日 | 1.メディカルコントロール及び消防関連報告 2. 災害医療に関する情報伝達訓練について 3.救急医療関連報告 |
| 第2回 | 平成25年3月7日 | 1. メディカルコントロール関連承認事項について 2.メディカルコントロール関連報告 3.災害医療に関する情報伝達訓練について 4.救急医療関連報告 |

各種統計・報告

1) 衛生行政報告例

国及び地方公共団体の衛生行政運営のための基礎資料を得ることを目的に、衛生行政の実態を把握しました。

2) 地域保健・健康増進事業報告

地域住民の健康の保持及び増進をめざし、地域の特性に応じた保健施策の効率的、効果的な推進を行っていくための基礎資料を得ることを目的として実態を把握しました。

3) 病院報告

医療法に基づいて病院（療養型病床群を有する診療所を含む）における患者の利用状況と病院の従事者の状況を把握しました。

4) 医療施設調査

医療施設の分布及びその機能の実態を明らかにするために、3年毎に静態調査、月毎に動態調査を実施し把握しました。

免許の申請、書き換え交付状況

医師、歯科医師その他の保健医療従事者の免許申請等の受理、免許証の交付を行いました。

平成 24 年度

| | 新規申請 (件) | 書き換え (件) | 再交付 (件) | 抹消 (件) | 計 (件) |
|---------------------|----------|----------|---------|--------|-------|
| 医師等医療従事者 申請件数の合計 | 319 | 202 | 27 | 7 | 555 |

病院・診療所立入検査

医療法等関係法令に基づき、医療の安全の確保のために、市内の全病院及び診療所に対して、立入検査を行い、法令等に規定された人員の配置や構造設備に関する検査、医療従事者向け各種マニュアル整備等の確認をし、指導助言を行いました。

1) 病院・診療所立入検査の状況

(1) 立入実施施設数

| 年度 | 病院 (毎年実施) | | | 診療所 (5年に1度実施) | | |
|----------|------------|------------|------------|---------------|------------|------------|
| | 対象数 (件) | 実施数 (件) | 実施率 (%) | 対象数 (件) | 実施数 (件) | 実施率 (%) |
| 平成 24 年度 | 13 | 13 | 100.0 | ※408 | 82 | 20.1 |
| 平成 23 年度 | 13 | 13 | 100.0 | ※406 | 89 | 21.9 |
| 平成 22 年度 | 13 | 13 | 100.0 | ※403 | 88 | 21.8 |

(※開設施設中、休止施設のぞく)

(2) 病院立入実施結果 (指示・指摘内容)

| 年 度 | 平成 24 年度 | |
|------------------|----------|---------|
| 指 摘 内 容 | 不備件数 (件) | 不備率 (%) |
| 医療安全管理体制の整備 | 1 | 7.7 |
| 医療従事者に対する健康診断の実施 | 0 | 0 |
| 医療従事者の不足 | 1 | 7.7 |
| その他 | 0 | 0 |

(3) 診療所立入実施結果 (指示内容)

| 年 度 | 平成 24 年度 | |
|------------------|----------|---------|
| 指 摘 内 容 | 不備件数 (件) | 不備率 (%) |
| 医療安全管理体制の整備 | 0 | 0 |
| 医療従事者に対する健康診断の実施 | 0 | 0 |
| その他 | 2 | 2.4 |

衛生検査所立入検査

臨床検査技師等に関する法律に基づき、衛生検査所に立ち入り、法令等に規定された人員の配置や構造設備に関する検査を行いました。

医務

医療法等関係法令に基づき、医療施設の開設・内容変更・廃止等の事務及び構造設備の適正管理等について確認検査を行いました。

1) 市内医務施設数 (ヶ所)

| | 病院 | 医科診療所 | 歯科診療所 | 歯科技工所 | 助産所 | 施術所 | 合計 |
|--------|----|-------|-------|-------|-----|-----|-----|
| 平成24年度 | 13 | 267 | 152 | 43 | 4 | 245 | 724 |
| 平成23年度 | 13 | 262 | 155 | 41 | 4 | 237 | 712 |
| 平成22年度 | 13 | 258 | 154 | 41 | 4 | 224 | 694 |

2) 確認検査と開設・廃止状況 (件数)

| | 確認検査 | | 開設許可 | | 開設届 | | 廃止 | | 使用許可 | |
|-------|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|
| | H24 | H23 | H24 | H23 | H24 | H23 | H24 | H23 | H24 | H23 |
| 病院 | 11 | 5 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 32 | 23 |
| 医科診療所 | 18 | 18 | 5 | 7 | 14 | 12 | 8 | 8 | 0 | 0 |
| 歯科診療所 | 5 | 10 | 0 | 2 | 2 | 3 | 6 | 2 | 0 | 0 |
| 歯科技工所 | 2 | 0 | - | - | 2 | 0 | 1 | 0 | - | - |
| 助産所 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 施術所 | 13 | 15 | - | - | 12 | 16 | 9 | 3 | - | - |
| 衛生検査所 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 総数 | 50 | 48 | 6 | 9 | 31 | 31 | 25 | 13 | 32 | 23 |

「1日看護体験」の実施

高校生が夏休みの1日を、医療機関において看護業務を体験することにより、看護の実際を理解し、看護職志望を促す機会を提供しました。

13校 延べ103人参加

献血事業

市内の各種団体、献血会、事業所、学校等の協力を得て、献血意識の普及、啓発に努めるとともに、多くの市民に献血にご協力をいただきました。

(1) 四日市市献血推進の日（夏、冬）

実施月日：平成 24 年 7 月 27 日、平成 25 年 1 月 25 日

実施場所：近鉄四日市駅北口・ふれあいモール

(2) クリスマス献血キャンペーン

実施月日：平成 24 年 12 月 24 日

実施場所：(株)日永カヨーショッピングセンター

(3) 四日市献血ルーム「サンセリテ」

三重県赤十字血液センターが近鉄四日市駅前「スターアイランド」4Fにて常設の献血ルームを開設しています。

受付時間

- ・全血献血 10 時～11 時 45 分、13 時～17 時 30 分
- ・成分献血 10 時～11 時、13 時～17 時

(4) 献血状況

①献血イベントの状況

| | 推進の日（夏） | クリスマス献血 | 推進の日（冬） |
|-----------|---------|---------|---------|
| 献血者数(人) | 83 | 53 | 69 |
| 啓発参加者数（人） | 90 | 50 | 48 |

②市内献血バス及び献血ルーム「サンセリテ」の状況

| | 平成 24 年度 | | | 平成 23 年度 | | |
|---------|-------------------|----------|----------|-------------------|----------|----------|
| | 献 血 協 力 者 実 績 (人) | | | 献 血 協 力 者 実 績 (人) | | |
| | 成分献血 | 200ml 献血 | 400ml 献血 | 成分献血 | 200ml 献血 | 400ml 献血 |
| 献 血 バ ス | — | — | 5,491 | — | — | 5,355 |
| サンセリテ | 11,507 | 0 | 2,086 | 11,701 | 0 | 1,960 |
| 合 計 | 11,507 | 0 | 7,577 | 11,701, | 0 | 7,315 |

骨髄バンク事業推進

献血イベントに併せ、意識の普及啓発に努めるとともに、骨髄提供希望者（ドナー）の登録受付を実施しました。

(1) 骨髄バンクの普及啓発及びドナー受付窓口の設置

- ・平成 24 年 7 月 27 日 近鉄四日市駅北口・ふれあいモールで実施
- ・平成 24 年 12 月 24 日 (株) 日永カヨーショッピングセンターで実施
- ・平成 25 年 1 月 25 日 近鉄四日市駅北口・ふれあいモールで実施
- ・四日市献血ルーム「サンセリテ」において実施（平成 24 年度） ドナー登録受付：27人

応急診療所事業

四日市市応急診療所において、休日における市民の一次救急医療を行いました。なお平成23年度より1月1日も診療することとなりました。

①診療日及び診療時間

日曜日、祝（休）日、12月31日、1月1日、2日、3日

午前10時～午後4時

②診療科目

内科、小児科、耳鼻咽喉科（耳鼻咽喉科は日曜日のみ）

| 年度 | 内科 (人) | 小児科 (人) | 耳鼻科 (人) | 計 (人) | 一日平均 (人) |
|--------|-----------|------------|------------|----------|-------------|
| | | | | | () は診療日数 |
| 平成24年度 | 1,306 | 1,869 | 369 | 3,544 | 49.92 (71日) |
| 平成23年度 | 1,177 | 1,928 | 287 | 3,392 | 49.15 (69日) |
| 平成22年度 | 930 | 1,935 | 270 | 3,135 | 45.43 (69日) |

歯科医療センター事業

四日市市歯科医療センターにおいて、障害者に対する歯科診療及び年末年始における応急の歯科診療を行いました。なお平成23年度より1月1日も診療することとなりました。

①診療日及び診療時間

応急診療

年末年始 12月30日、12月31日、1月1日、1月2日

(午前9時～午前11時30分)

障害者（児）診療（予約制）

火、木曜日（午後1時30分～午後4時30分）

月2回日曜日（午前9時30分～午後0時30分）

※祝・休日と12月28日～1月3日を除く。

| 年度 | 休日診療 | | | 障害者診療 | | | ※障害者診療日に 応急患者の受 入件数 | |
|--------|------------------|-----------------|-------------|------------------|---------|------|---------------------------|-------------|
| | 診療実 日数 (日) | 受診 者数 (人) | 1日平 均(人) | 診療実 日数 (日) | 受診者数(人) | | | 一日平 均(人) |
| | | | | | 延数 | 新患再掲 | | |
| 平成24年度 | 4 | 66 | 16.5 | 90 | 1,164 | 376 | 12.9 | 4人(4日) |
| 平成23年度 | 4 | 49 | 12.3 | 90 | 1,157 | 416 | 12.9 | 7人(7日) |
| 平成22年度 | 4 | 29 | 7.2 | 90 | 1,237 | 377 | 13.7 | 4人(4日) |

※障害者診療日(日曜日等)に応急処置希望者の受診があった場合、対応可能な範囲で診療を実施。

学生実習

地域保健活動の中核として、保健、医療、福祉分野に従事する人材育成のため実習受け入れを行いました。

| 学校名 | 実習生数 | 実習期間 | 実習内容 |
|------------------|-------------------------------|---|---|
| 三重大学医学部 | 計 11 人 (1 年生 5 人、2 年生 6 人) | 1・2 年生合同 6 月 20 日 1 年生：9 月 10, 12, 13, 14, 18, 20 日 2 年生：12 月 5 日 | ※保健所事業について説明 1 年生：市内の在宅医療に関わる関係機関見学実習 2 年生：健康教育実施 |
| 四日市看護医療大学 | 計 83 人 | 1) 5 月 7 日～6 月 29 日 (20 人) (4 グループに分かれ各日 6 間) 2) 9 月 7 日 (1 日間) (35 人) H ²⁵ 3 月 22 日 (1 日間) (26 人) 3) 11 月 19 日～H ²⁵ 2 月 28 日 (6 グループに分かれ各 7 日間) | 各種保健事業見学、健康教育実施等 保健所実習事前集中講義 各種保健事業見学、健康教育実施等 |
| 四日市医師会看護専門学校 | 計 98 人 | 1) 5 月 28 日 (45 人) 2) 6 月 18 日～7 月 13 日 (12 人) (4 グループに分かれ各 2 日間) 3) H ²⁵ 3 月 12 日～16 日 (41 人) (3 グループに分かれ各半日×2 回) | 臨地実習リエンテーション 各種保健事業見学 地域の老人クラブとの交流会、お達者クラブ見学 |
| 修文大学 (管理栄養士) | 2 人 | 6 月 20 日～6～24 日 | 1 歳 6 ヶ月児、3 歳児健診、体力測定、健康づくりよっかいち 2012、お達者クラブ、育児相談、給食施設ネットワーク研修会 |
| 椋山女学園大学 (管理栄養士) | 1 人 | 2 月 13 日～2 月 16 日 | 包括教室、障害リハ見学、お達者クラブ |
| 東海学園大学 (管理栄養士) | 1 人 | | |
| 名古屋経済大学 (管理栄養士) | 2 人 | | |
| 鈴鹿医療科学大学 (理学療法士) | 1 人 | | |

母子保健事業

1) 安心して出産するために

(1) 母子健康手帳の交付

母子健康手帳を交付し、出産までの経緯や児の成長を記録することで、母並びに乳幼児の健康の保持及び増進を図りました。

交付者数（人）

| 平成 24 年度 | 平成 23 年度 | 平成 22 年度 |
|----------|----------|----------|
| 3,070 | 3,132 | 3,082 |

(2) 妊婦一般健康診査

妊婦を対象に、健康診査（医療機関に委託）を実施して、安全な分娩と健康な児の出生を支援しました。

受診者数（人）

| 年度 | 1～5 回目 | | 6～14 回目 | |
|----------|--------|--------|---------|--------|
| | 妊娠届出者数 | 総受診者数 | 妊娠届出者数 | 総受診者数 |
| 平成 24 年度 | 2,933 | 13,896 | 2,933 | 20,122 |
| 平成 23 年度 | 3,019 | 14,091 | 3,019 | 20,192 |
| 平成 22 年度 | 2,858 | 14,529 | 2,858 | 21,041 |

(3) 育児学級「パパママ教室」

妊婦とその家族を対象に、妊娠・育児に関して模擬体験を交えた具体的な指導を行うことにより、母性父性の健全な育成を行いました。年間 16 回開催しました。（うち 6 回は日曜日に開催）

参加者数（人）

| 年度 | 妊婦 | 家族 | 合計 |
|----------|-----|-----|-----|
| 平成 24 年度 | 228 | 220 | 448 |
| 平成 23 年度 | 221 | 202 | 423 |
| 平成 22 年度 | 233 | 220 | 453 |

2) 児の発達、成長の確認のために

(1) 乳児一般健康診査

4 か月児、10 か月児を対象に、健康診査（医療機関に委託）を実施し、成長の確認とともに、障害等を早期に発見して必要な支援につなげました。

受診者数（人）

| 年度 | 4 か月児 | | | 10 か月児 | | |
|----------|-------|-------|---------|--------|-------|---------|
| | 対象者数 | 受診者数 | 受診率 (%) | 対象者数 | 受診者数 | 受診率 (%) |
| 平成 24 年度 | 2,816 | 2,735 | 97.1 | 2,803 | 2,567 | 91.6 |
| 平成 23 年度 | 2,880 | 2,761 | 95.9 | 2,884 | 2,614 | 90.6 |
| 平成 22 年度 | 2,827 | 2,723 | 96.3 | 2,891 | 2,631 | 91.0 |

(2) 1歳6か月児健康診査

1歳6か月児を対象に健康診査を実施し、心身の障害等を早期に発見し、適切な支援につなげるとともに、生活習慣の自立、むし歯の予防、栄養、その他育児に関する指導を行い、幼児の健康の保持及び増進を図りました。年間66回開催しました。(うち6回は日曜日開催)

受診者数(人)

| 年度 | 対象者数 | 受診者数 | 受診者のうち | | 受診率(%) | 日曜健診受診状況(再掲) | | |
|--------|-------|-------|--------|----------|--------|--------------|------|--------|
| | | | 経過観察者数 | 経過観察率(%) | | 予約者数 | 受診者数 | 利用率(%) |
| 平成24年度 | 2,898 | 2,797 | 512 | 18.3 | 96.5 | 199 | 187 | 6.7 |
| 平成23年度 | 2,793 | 2,699 | 462 | 17.1 | 96.6 | 159 | 152 | 5.6 |
| 平成22年度 | 2,855 | 2,772 | 535 | 19.3 | 97.1 | 176 | 163 | 5.9 |

(3) 3歳児健康診査

3歳児を対象に、健康診査を実施し、視聴覚、運動・発達等心身障害やその他疾病等の進行を未然に防止するとともに、生活習慣の自立、むし歯の予防、栄養、その他育児に関する指導を行い、幼児の健康の保持及び増進を図りました。年間42回開催しました。(うち6回は日曜日開催)

受診者数(人)

| 年度 | 対象者数 | 受診者数 | 受診者のうち | | 受診率(%) | 日曜健診受診状況(再掲) | | |
|--------|-------|-------|--------|----------|--------|--------------|------|--------|
| | | | 経過観察者数 | 経過観察率(%) | | 予約者数 | 受診者数 | 利用率(%) |
| 平成24年度 | 2,779 | 2,669 | 184 | 6.9 | 96.0 | 262 | 246 | 9.2 |
| 平成23年度 | 2,797 | 2,587 | 232 | 9.0 | 92.5 | 254 | 240 | 9.3 |
| 平成22年度 | 2,906 | 2,717 | 172 | 6.3 | 93.5 | 269 | 250 | 9.2 |

(4) 乳幼児事後継続指導心理発達相談

健診や相談後にその内容に伴い、児と保護者を対象に、心理発達相談員による心身の発達・育児不安等の継続指導を行い、児の健康増進、保護者への育児支援を図りました。必要な場合には専門機関の紹介を行いました。

相談者数(人)

| 年度 | 心身の発達相談数 | 育児不安相談数 | 合計 |
|--------|----------|---------|-----|
| 平成24年度 | 396 | 10 | 406 |
| 平成23年度 | 401 | 43 | 444 |
| 平成22年度 | 538 | 42 | 580 |

(5) 親子教室「ラッコ」、「イルカ」

各種健診、相談において、発達遅滞・発達障害や育児不安が疑われる児と保護者を対象に、定期的な集団指導を行うことにより、児の発達を促すための適切な関わり方を学ぶ機会を設け、育児不安の解消を図りました。

①親子教室「ラッコ」参加者数（人）：1歳6か月から2歳6か月頃の児。年間12回開催。

| 年度 | 実人員 | 延人員 |
|--------|-----|-----|
| | 対象者 | 対象者 |
| 平成24年度 | 37 | 104 |
| 平成23年度 | 19 | 65 |
| 平成22年度 | 41 | 103 |

②親子教室「イルカ」参加者数（人）：2歳6か月以上の幼児。年間12回開催。

| 年度 | 実人員 | 延人員 |
|--------|-----|-----|
| | 対象者 | 対象者 |
| 平成24年度 | 20 | 82 |
| 平成23年度 | 25 | 72 |
| 平成22年度 | 35 | 80 |

3) 育児支援

(1) 育児相談

乳幼児を対象に、発育・発達、育児、栄養等に関する相談・指導を行いました。年間22回開催しました。

相談者数（人）

| 年度 | 実人員（人） | | | 延人員（人） | | |
|--------|--------|-----|-----|--------|-----|-------|
| | 乳児 | 幼児 | 合計 | 乳児 | 幼児 | 合計 |
| 平成24年度 | 320 | 297 | 617 | 961 | 884 | 1,845 |
| 平成23年度 | 304 | 316 | 620 | 1,014 | 815 | 1,829 |
| 平成22年度 | 235 | 218 | 453 | 354 | 748 | 1,102 |

(2) 妊産婦・乳幼児電話・来所相談

妊産婦または乳幼児の保護者を対象に、母性または乳幼児の健康保持及び増進のために、電話または来所により、随時、必要な指導助言を行いました。

相談者数（人）

| 年度 | 総数 | 相談状況内訳 | | |
|--------|--------|--------|------------------------|------------------------|
| | | 来所相談 | 市民からの 電話相談 (希望者) | 保健所から の電話での 働きかけ |
| 平成24年度 | 13,016 | 699 | 3,428 | 8,889 |
| 平成23年度 | 14,628 | 639 | 6,548 | 7,441 |
| 平成22年度 | 16,990 | 900 | 7,434 | 8,656 |

(3) 訪問指導

妊産婦訪問指導

若年妊産婦、訪問を希望する妊産婦または医療機関からの情報提供を受けた妊産婦を対象に、保健師や助産師が家庭訪問し、妊娠、出産、育児等を支援しました。

新生児訪問指導

訪問希望または医療機関からの情報提供を受けた新生児を対象に、保健師や助産師が家庭訪問し、新生児の発育、栄養、環境、疾病予防等を支援しました。

乳幼児訪問指導

乳児一般健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査、育児相談、電話相談等のフォローを中心として日常生活における適切な育児指導を実施することにより、児の健全な発達を支援しました。

実施者数（人）

| 年度 | 妊婦 | | 産婦 | | 新生児 | | 乳児 | |
|--------|-----|-----|-------|-------|-----|-----|-------|-------|
| | 実人員 | 延人員 | 実人員 | 延人員 | 実人員 | 延人員 | 実人員 | 延人員 |
| 平成24年度 | 85 | 97 | 1,055 | 1,308 | 129 | 141 | 3,258 | 3,785 |
| 平成23年度 | 74 | 76 | 819 | 1,039 | 106 | 109 | 3,017 | 3,569 |
| 平成22年度 | 70 | 83 | 843 | 1,284 | 163 | 174 | 2,874 | 3,785 |

| 未熟児（※） | | 幼児 | | その他 | | 合計 | |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| 実人員 | 延人員 | 実人員 | 延人員 | 実人員 | 延人員 | 実人員 | 延人員 |
| 176 | 176 | 450 | 826 | 10 | 13 | 4,987 | 6,170 |
| 216 | 254 | 293 | 522 | 3 | 3 | 4,312 | 5,318 |
| 226 | 243 | 375 | 624 | 8 | 12 | 4,333 | 5,962 |

（※）未熟児人員は、新生児人員および乳児人員からの再掲

(4) こんにちは赤ちゃん訪問事業

おおむね生後4か月に達するまでの乳児がいる家庭を、保健師、助産師、看護師及び赤ちゃん訪問員が全戸訪問し、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、支援が必要な家庭に対しては適切なサービスの提供に結びつけました。

実施者数（人）

| 年度 | 実人員 | 内 訳 | | | |
|--------|-------|---------|---------------|--------------|---------------|
| | | 保健所スタッフ | | こんにちは赤ちゃん訪問員 | |
| | | 実人員 | 継続支援者 (再掲) | 実人員 | 継続支援者 (再掲) |
| 平成24年度 | 2,740 | 656 | 262 | 2,084 | 447 |
| 平成23年度 | 2,816 | 541 | 140 | 2,275 | 452 |
| 平成22年度 | 2,727 | 557 | 240 | 2,170 | 517 |

(5) 乳幼児食教室

乳幼児の保育者を対象に、乳幼児期の食生活の指導を通じて、児の健やかな成長を支援しました。年間30回開催しました。

参加者数（人）

| 年度 | 前期（5～8か月児） | 後期（9～12か月児） | 合計 |
|--------|------------|-------------|-----|
| 平成24年度 | 414 | 267 | 681 |
| 平成23年度 | 433 | 248 | 681 |
| 平成22年度 | 460 | 270 | 730 |

4) 地域での子育て支援

(1) 他機関における子育て支援事業への支援

保育園、幼稚園、子育て支援センターなど身近な育児の交流の場へ、保健師や看護師が出向いて育児相談を行いました。関係機関や民生児童委員らと連携した育児支援を行うことにより、育児不安の解消を図りました。

参加者数（人）

| 事業名 | 平成24年度 | | | 平成23年度 | | | 平成22年度 | | |
|--------------------|--------|-------|------|--------|-------|------|--------|-------|------|
| | 参加回数 | 利用者数 | 相談者数 | 参加回数 | 利用者数 | 相談者数 | 参加回数 | 利用者数 | 相談者数 |
| 保育園あそぼう会 | 28 | 529 | 108 | 19 | 440 | 106 | 29 | 622 | 107 |
| 幼稚園あそび会 | 15 | 551 | 76 | 8 | 281 | 45 | 21 | 766 | 74 |
| 子育て支援C (保育園併設型) | 38 | 950 | 218 | 26 | 1,008 | 173 | 28 | 895 | 137 |
| 子育て支援C (単独型) | 24 | 1,285 | 178 | 34 | 1,453 | 139 | 21 | 1,888 | 106 |
| 民生委員児童 委員主催等 | 25 | 1,584 | 283 | 23 | 1,869 | 295 | 25 | 1,547 | 291 |
| 依頼による教育 | 2 | 57 | 0 | 2 | 125 | — | 3 | 71 | — |
| 計 | 132 | 4,956 | 863 | 112 | 5,176 | 758 | 127 | 5,789 | 715 |

5) 子どもの歯を守るために

(1) 幼児歯みがき教室（歯ハハの教室）

2歳から4歳未満の児と保護者を対象に、むし歯予防の啓発と指導を行い、乳歯・永久歯の健全な育成、保持を図りました。年間48回開催しました。

参加者数（人）

| 平成24年度 | 平成23年度 | 平成22年度 |
|--------|--------|--------|
| 1,428 | 1,338 | 958 |

(2) 妊婦歯科教室（デンタルマタニティースクール）

妊婦（概ね妊娠16週～24週）を対象に、歯の自己管理、子どもの歯の特性の啓発、歯口清掃などを行い、健全な歯の育成を支援しました。年間12回開催しました。

参加者数（人）

| 平成24年度 | 平成23年度 | 平成22年度 |
|--------|--------|--------|
| 65 | 65 | 79 |

6) 情報提供

(1) 乳幼児事故予防対策

妊産婦、乳幼児と保護者を対象に、乳幼児の事故予防方法について情報提供、指導を行いました。教室は年間1回開催し、啓発を随時行いました。

参加者数（人）

| 年度 | 参加者数 | 内訳 | | | |
|--------|------|------|------|------|-----|
| | | 乳児同伴 | 幼児同伴 | 妊婦のみ | 保護者 |
| 平成24年度 | 34 | 10 | 2 | 0 | 22 |
| 平成23年度 | 39 | 13 | 5 | 0 | 21 |
| 平成22年度 | 85 | 28 | 14 | 0 | 43 |

予防接種事業

1) 四日市市予防接種運営委員会

予防接種事業の円滑な運営及び予防接種事故の防止を図るため協議会を開催しました。

| 開催日 | 委員会・部会 | 議事 |
|------------|---------------|--------------------------------|
| 平成24年5月29日 | 四日市市予防接種運営委員会 | 日本脳炎ワクチン、子宮頸がん予防ワクチンの個別通知について等 |
| 平成24年8月10日 | 第1回予防接種率向上部会 | 不活化ポリオワクチンの実施について等 |
| 平成24年9月25日 | 第2回予防接種率向上部会 | 4種混合ワクチンの実施について等 |
| 平成25年3月5日 | 第3回予防接種率向上部会 | 予防接種法の改正に伴う、平成25年度予防接種の実施について等 |

2) 予防接種者数と接種率について

接種状況

| | | 平成24年度 | | 平成23年度 | | 平成22年度 | |
|-------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | 接種者数 | 接種率 | 接種者数 | 接種率 | 接種者数 | 接種率 |
| 三種混合 (ジフテリア、百日咳、破傷風) | 1期 1回目 | 1,843 | 66.5% | 2,916 | 103.3% | 2,860 | 102.3% |
| | 1期 2回目 | 2,112 | 76.2% | 2,954 | 104.6% | 2,827 | 101.1% |
| | 1期 3回目 | 2,453 | 88.5% | 2,865 | 101.5% | 2,843 | 101.7% |
| | 1期 追加 | 2,944 | 104.2% | 2,750 | 98.4% | 2,910 | 104.7% |
| 二種混合（ジフテリア、破傷風）乳児 | | | | 2 | | | |
| 二種混合（ジフテリア、破傷風）学童 | | 2,413 | 76.2% | 2735 | 88.6% | 2606 | 81.1% |

| | | | | | | | |
|----------------------|----------------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|
| 生ポリオ | 1回目 | 890 | 31.9% | 2443 | 86.6% | 2664 | 95.0% |
| | 2回目 | 2,016 | 72.2% | 2181 | 77.3% | 2521 | 89.9% |
| 不活化 ポリオ | 1回目 | 2,498 | | | | | |
| | 2回目 | 2,775 | | | | | |
| | 3回目 | 2,532 | | | | | |
| | 追加 | 29 | | | | | |
| 四種混合 (H24.10～) | 1回目 | 962 | | | | | |
| | 2回目 | 726 | | | | | |
| | 3回目 | 432 | | | | | |
| | 追加 | | | | | | |
| 麻しん 風しん混合 (MR) | 1期 | 2,742 | 100.3% | 2,776 | 98.2% | 2,792 | 100.5% |
| | 2期 | 2,840 | 95.1% | 2,669 | 95.6% | 2,814 | 96.6% |
| | 3期 | 2,819 | 91.3% | 2,947 | 91.8% | 2,994 | 91.7% |
| | 4期 | 2,595 | 84.2% | 2,753 | 85.5% | 2,564 | 83.4% |
| 麻しん | 1期 | 0 | | 0 | | 0 | |
| | 2期 | 0 | | 0 | | 0 | |
| | 3期 | 0 | | 0 | | 0 | |
| | 4期 | 1 | | 0 | | 0 | |
| 風しん | 1期 | 0 | | 0 | | 1 | |
| | 2期 | 1 | | 0 | | 1 | |
| | 3期 | 1 | | 1 | | 0 | |
| | 4期 | 1 | | 2 | | 6 | |
| 日本脳炎 | 1期1回目(7歳6か月未満) | 3,029 | | 3,198 | | 3,786 | 126.9% |
| | 1期1回目(7歳6か月以上) | 228 | | 734 | | | |
| | 1期1階目(9歳以上) | 346 | | | | 29 | 0.9% |
| | 1期2回目(7歳6か月未満) | 2,643 | | 3,026 | | 3,624 | 121.4% |
| | 1期2回目(7歳6か月以上) | 204 | | 796 | | | |
| | 1期2回目(9歳以上) | 358 | | | | 36 | 1.0% |
| | 1期追加(7歳6か月未満) | 2,560 | | 2,588 | | 1,846 | 66.4% |
| | 1期追加(7歳6か月以上) | 351 | | 967 | | | |
| | 1期追加(9歳以上) | 568 | | | | 62 | 2.0% |
| | 2期 | 937 | | 1,140 | | 221 | 7.0% |
| インフル エンザ | 65歳以上 | 35,119 | 50.7% | 35,568 | 53.1% | 38,922 | 58.7% |
| | 60～64歳 | 92 | 48.2% | 70 | 34.3% | 127 | 60.5% |
| 合 計 | | 82,060 | | 78,081 | | 79,056 | |

*平成23年5月20日から厚生労働省の指導により、日本脳炎ワクチン1期接種の積極的勧奨を順次再開。平成7年6月1日～平成19年4月1日生まれの者は特例対象者として、6か月以上20歳未満の間、日本脳炎予防接種が定期予防接種として接種可能となった。

3) 任意予防接種について

国の「ワクチン接種緊急促進事業実施要領」に基づき、子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチンの接種を実施しました。(平成23年2月より開始)

接種状況

| | | 平成24年度 | | 平成23年度 | | 平成22年度 (平成23年2月1日 ～3月末実施分) | |
|-----------------|-----------------|--------|--------|--------|--------|----------------------------------|--------|
| | | 接種者数 | 延べ接種回数 | 接種者数 | 延べ接種回数 | 接種者数 | 延べ接種回数 |
| 子宮頸がん 予防ワクチン | 中学1年生 ～高校1年生 | 1,559 | 5,194 | 3,729 | 11,350 | 2,005 | 3,282 |
| | 高校2年生 | ※137 | 137 | 409 | 2,217 | | |
| ヒブワクチン | 生後2か月 ～5歳未満 | 2,530 | 6,627 | 6,561 | 13,131 | 3,367 | 3,486 |
| 小児用肺炎 球菌ワクチン | 生後2か月 ～5歳未満 | 2,520 | 6,487 | 6,930 | 15,689 | 4,001 | 4,131 |
| 合計 | | 6,746 | 18,445 | 17,629 | 42,387 | 9,373 | 10,899 |

※子宮頸がん予防ワクチンの高校2年生については、平成24年度は前年度中に1回以上接種済みの人のみが対象

4) 結核対策について

接種状況

| | 平成24年度 | | 平成23年度 | | 平成22年度 | |
|-----|--------|-------|--------|-------|--------|-------|
| | 接種者数 | 接種率 | 接種者数 | 接種率 | 接種者数 | 接種率 |
| BCG | 2,676 | 99.0% | 2,792 | 98.7% | 2,722 | 95.6% |

5) 高齢者肺炎球菌ワクチン接種について

平成23年12月から、高齢者を対象に肺炎球菌ワクチンの接種にあたり、一人当たり3,000円の公費助成を実施しました。

接種状況

| | 接種者数 | 接種率 |
|--------|--------|-------|
| 平成24年度 | 2,678 | 14.5% |
| 平成23年度 | 7,599 | |
| 合計 | 10,277 | |

成人保健事業

1) 健康管理のために

(1) 健康手帳の交付

自らの健康管理と維持、適切な医療受診の支援を行いました。

交付者数（人）

| | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 | 平成 22 年度 |
|-----------|----------|----------|----------|
| 40 歳～74 歳 | 1,542 | 2,081 | 2,043 |
| 75 歳以上 | 322 | 312 | 274 |
| 合 計 | 1,864 | 2,393 | 2,317 |

(2) 健康相談事業

心身の健康についての適切な指導、助言を行い、市民の健康保持増進を図りました。

実施状況 40～64 歳 【()内は 20～39 歳】

| | 実施回数 | 相談延べ実施回数 | | |
|--------------|-------|-------------|-------------|-------------|
| | | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 | 平成 22 年度 |
| あさけプラザでの相談 | 週 2 回 | ※ 80 (0) | 89 (0) | 103 (0) |
| 保健所等での相談（来所） | 随時 | 15 (0) | 23 (2) | 35 (1) |
| 電話による健康相談 | 随時 | 8 (5) | 16 (7) | 49 (17) |
| 健康教育と併設 | 随時 | 2 (20) | 10 (19) | 11 (2) |
| 合 計 | | 105 (25) | 138 (28) | 198 (20) |

※ 23 年度以前は週 2 回。24 年度のあさけプラザでの相談は、週 1 回。25 年度は、週 2 回の予定
65 歳以上は、介護予防の健康相談に計上

(3) 検診（胃がん、子宮頸がん、大腸がん、乳がん、胸部、肝炎ウイルス検査、歯周疾患検診）

検診を実施することにより、疾病を早期に発見し、適切な治療及び生活習慣の改善につなげ、疾患発症または重症化の予防を図りました。

検診受診状況

| 区分 | 年度 | 40歳以上 | | | | | 40歳未満 | | |
|--------|--------|-------------|----------|----------|--------|------------|----------|----------|-----|
| | | 対象者数 (人) | 受診者数(人) | | | 受診率 (%) | 受診者数(人) | | |
| | | | 地区 巡回 | 医療 機関 | 合計 | | 地区 巡回 | 医療 機関 | 合計 |
| 胃がん検診 | 平成24年度 | 78,620 | 3,185 | 11,157 | 14,342 | 18.2 | 114 | | 114 |
| | 平成23年度 | 78,620 | 3,416 | 10,359 | 13,775 | 17.5 | 148 | | 148 |
| | 平成22年度 | 73,052 | 3,619 | 8,992 | 12,611 | 17.3 | 184 | | 184 |
| 乳がん検診 | 平成24年度 | 50,236 | 5,637 | 2,443 | 8,080 | 25.5 | — | | — |
| | | (エコー) | 391 | | 391 | | 471 | | 471 |
| | 平成23年度 | 50,236 | 6,063 | 2,508 | 8,571 | 25.8 | — | | — |
| | | (エコー) | 413 | | 413 | | 670 | | 670 |
| | 平成22年度 | 47,922 | 6,140 | 2,272 | 8,412 | 27.3 | — | | — |
| | | (エコー) | 370 | | 370 | | 808 | | 808 |
| 胸部検診 | 平成24年度 | 78,620 | 6,316 | | 6,316 | 8.0 | 144 | | 144 |
| | 平成23年度 | 78,620 | 6,181 | | 6,181 | 7.9 | 166 | | 166 |
| | 平成22年度 | 73,052 | 5,992 | | 5,992 | 8.2 | 211 | | 211 |
| 大腸がん検診 | 平成24年度 | 78,620 | 4,302 | 12,846 | 17,148 | 21.8 | | | |
| | 平成23年度 | 78,620 | 4,505 | 12,133 | 16,638 | 21.2 | | | |
| | 平成22年度 | 73,052 | 4,441 | 8,727 | 13,168 | 18.0 | | | |

| 区分 | 年度 | 20歳以上の女性 | | | | | |
|---------|--------|-------------|----------|----------|---------------|--------|------------|
| | | 対象者数 (人) | 受診者数(人) | | | | 受診率 (%) |
| | | | 地区 巡回 | 医療 機関 | 妊婦健診 での受診者 | 合計 | |
| 子宮頸がん検診 | 平成24年度 | 64,492 | 3,596 | 9,228 | 2,507 | 15,331 | 35.7 |
| | 平成23年度 | 64,492 | 4,052 | 8,650 | 2,582 | 15,284 | 33.8 |
| | 平成22年度 | 63,398 | 4,423 | 7,554 | 1,880 | 13,857 | 28.5 |

| 区分 | 年 度 | 受診者数（人） | | |
|-------------------|----------|---------|------|-----|
| | | 地区巡回 | 医療機関 | 合計 |
| B型・C型 肝炎ウイルス検査 | 平成 24 年度 | — | 165 | 165 |
| | 平成 23 年度 | — | 200 | 200 |
| | 平成 22 年度 | — | 222 | 222 |

さわやか歯科検診（歯周病検診）受診者数

| 年 度 | 対象者数 （人） | 受診者数（人） | | | | | 受診率 （%） |
|----------|-------------|---------|------|------|------|-------|------------|
| | | 40 歳 | 50 歳 | 60 歳 | 70 歳 | 合計 | |
| 平成 24 年度 | 17,125 | 214 | 199 | 210 | 300 | 923 | 5.4 |
| 平成 23 年度 | 17,270 | 269 | 212 | 218 | 380 | 1,079 | 6.2 |
| 平成 22 年度 | 16,941 | 233 | 175 | 193 | 251 | 852 | 5.0 |

（４）健康増進法健康診査・保健指導

各医療保険による特定健康診査の対象とならない、生活保護受給者等の 40 歳以上の人を対象とし、メタボリックシンドロームの早期発見、予防改善のための健診及び保健指導を実施しました。

健康増進法健康診査・保健指導受診者数

| 年 度 | 健康診査 | | | 保健指導 | | | | | | | |
|----------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|-----------|------------|-------------|-------------|-----------|------------|
| | 対象者数 （人） | 受診者数 （人） | 受診率 （%） | 動機付け支援 | | | | 積極的支援 | | | |
| | | | | 対象者数 （人） | 受診者数 （人） | | 受診率 （%） | 対象者数 （人） | 受診者数 （人） | | 受診率 （%） |
| 平成 24 年度 | 2,516 | 531 | 21.1 | 41 | 初回面談 4 | 継続支援 2 | | 14.6 | 41 | 初回面談 0 | |
| 平成 23 年度 | 2,523 | 577 | 22.9 | 34 | 3 | 3 | 17.6 | 40 | 5 | — | 12.5 |
| 平成 22 年度 | 2,301 | 499 | 21.7 | 29 | 6 | — | 20.7 | 29 | 0 | — | 0 |

2) 健康づくり支援

(1) - 1 健康教育

一般市民を対象に、各種教室を行い健康増進、疾病予防を図りました。

実施状況

| 教室 | 年度 | 回数 (回) | 利用者数 (人) | | | |
|----------------------|----------|-----------|----------|-------|-------|-------|
| | | | 延人員 | 実人員 | 40歳以上 | |
| | | | | | 40歳以上 | 40歳未満 |
| 公園 DE エクササイズ | 平成 24 年度 | 16 | 538 | 92 | 90 | 2 |
| | 平成 23 年度 | 15 | 493 | 90 | 88 | 2 |
| | 平成 22 年度 | 20 | 666 | 86 | 84 | 2 |
| 健康づくりよっかいち | 平成 24 年度 | 9 | 418 | 55 | 53 | 2 |
| | 平成 23 年度 | 10 | 426 | 51 | 50 | 1 |
| | 平成 22 年度 | 12 | 504 | 57 | 56 | 1 |
| 夏限定・本気で シェイプアップ講座 | 平成 24 年度 | 8 | 297 | 89 | 79 | 10 |
| | 平成 23 年度 | 4 | 202 | 63 | 56 | 7 |
| | 平成 22 年度 | 8 | 430 | 130 | 130 | 0 |
| 「食」から ブラッシュアップ講座 | 平成 24 年度 | 6 | 138 | 83 | 0 | 83 |
| | 平成 23 年度 | 6 | 106 | 78 | 5 | 73 |
| | 平成 22 年度 | 4 | 51 | 47 | 5 | 42 |
| 保健事業指導者 支援事業 | 平成 24 年度 | 2 | 101 | 101 | 51 | 50 |
| | 平成 23 年度 | 1 | 44 | 44 | 17 | 27 |
| | 平成 22 年度 | 1 | 88 | 88 | 41 | 47 |
| いきいき 栄養教室 | 平成 24 年度 | 5 | 44 | 44 | 44 | 0 |
| | 平成 23 年度 | 5 | 47 | 47 | 47 | 0 |
| | 平成 22 年度 | 6 | 55 | 55 | 55 | 0 |
| 乳がん予防 健康教育 | 平成 24 年度 | 91 | 6,499 | 6,499 | 5,637 | 862 |
| | 平成 23 年度 | 86 | 7,026 | 7,026 | 6,356 | 670 |
| | 平成 22 年度 | 91 | 7,852 | 7,852 | 6,923 | 929 |
| 出前講座 | 平成 24 年度 | 202 | 4,295 | 4,295 | 4,136 | 159 |
| | 平成 23 年度 | 65 | 1,875 | 1,875 | 1,726 | 149 |
| | 平成 22 年度 | 85 | 2,812 | 2,812 | 2,594 | 218 |
| 地区及び各種団体等 からの依頼 | 平成 24 年度 | 42 | 2,206 | 2,206 | 1,877 | 329 |
| | 平成 23 年度 | 23 | 1,265 | 1,265 | 1,246 | 19 |
| | 平成 22 年度 | 16 | 468 | 468 | 400 | 68 |

(1) - 2 健康ボランティア開催による健康教育

一般市民が身近な場所で健康づくりを実践できるよう、健康ボランティアが各地域で活動しました。

参加者数（人）

| 年度 | ステキ健康サポーターによる活動 | ヘルスリーダーによる活動 | 食生活改善推進員による活動 |
|----------|-----------------|--------------|---------------|
| 平成 24 年度 | 23,956 | 10,347 | 5,876 |
| 平成 23 年度 | 18,655 | 7,758 | 5,376 |
| 平成 22 年度 | 18,299 | 7,572 | 4,422 |

ステキ健康サポーター：生活習慣病予防をすすめるボランティア

ヘルスリーダー：介護予防をすすめるボランティア

食生活改善推進員：食生活改善をすすめるボランティア

(2) 健康ボランティア養成

一般市民が身近な地域で健康づくりを進められるよう、健康ボランティアを養成しました。

実施状況

| 教室 | 年度 | 回数 (回) | 利用者数（人） | | | |
|------------------------|----------|-----------|---------|-----|-------|-------|
| | | | 延人員 | 実人員 | 40歳以上 | |
| | | | | | 40歳以上 | 40歳未満 |
| ステキ健康サポーター 養成講座 | 平成 24 年度 | 5 | 183 | 42 | 41 | 1 |
| | 平成 23 年度 | 10 | 229 | 30 | 30 | 0 |
| | 平成 22 年度 | 16 | 370 | 53 | 52 | 1 |
| ヘルスリーダー 養成講座 | 平成 24 年度 | 5 | 110 | 25 | 25 | 0 |
| | 平成 23 年度 | 10 | 508 | 67 | 66 | 1 |
| | 平成 22 年度 | 16 | 403 | 62 | 62 | 0 |
| 食生活改善推進員養成 事業(栄養教室) | 平成 24 年度 | 5 | 191 | 40 | 38 | 2 |
| | 平成 23 年度 | 12 | 310 | 56 | 51 | 5 |
| | 平成 22 年度 | 15 | 426 | 61 | 60 | 1 |

(3) 地域既存団体への健康づくり支援

地域の関係団体が健康ボランティアと連携して、自主的な健康づくりの取り組みが促進できるよう、健康づくりへの意識向上を目指した情報交換会及び講演会を開催しました。

実施状況

| 年度 | 取り組んだ地区数 | 健康づくり課が働きかけた団体数 | 健康ボランティアと顔合わせした団体数 |
|----------|----------|-----------------|--------------------|
| 平成 24 年度 | 2 地区 | 9 団体 | 7 団体 |
| 平成 23 年度 | 2 地区 | 9 団体 | 7 団体 |

(4) 地域職域連携推進協議会

地域保健と職域保健が連携し、個人が生涯にわたって心身の健康の保持増進を図り、継続的な健康管理を支援していく目的で協議会を開催しました。

開催状況

| 開催日 | 議事 |
|------------|--|
| 平成24年7月24日 | 1. ホームページ周知について 2. 今年度の取り組みについて（イベントについて） |
| 平成25年2月21日 | 1. 今年度の取り組みについて（報告、成果、課題） 2. 来年度の取り組みについて（各健康課題の取り組みについて検討） |

(5) がん検診アクションプロジェクト～働く世代のあなたに～

働き盛りの市民に対し、がんや健康について関心を持つきっかけを提供するために、「よっかいちキャンサーリボン実行委員会」と共催でがん検診受診啓発イベントを実施しました。

実施状況

| 開催日 | 開催場所 | 参加者数 | 内容 |
|-------------|-----------------|------|---|
| 平成24年10月12日 | 四日市市文化会館（第1ホール） | 777人 | <ul style="list-style-type: none"> がん体験を乗り越えた宮川花子さんによる講演会「花子流いきいきライフについて」 関連団体による検診等啓発ブース 大腸がん無料検診 |

3) 介護予防事業（65歳以上の方対象）

(1) 出前講座

健康が維持されるよう、地区市民センター等で認知症や閉じこもり予防などの介護予防に関する知識の普及、啓発を行いました。

実施状況

| 年度 | 延開催回数（回） | 延利用者数（人） |
|--------|----------|----------|
| 平成24年度 | 197 | 3,830 |
| 平成23年度 | 53 | 1,390 |
| 平成22年度 | 76 | 2,140 |

(2) 健康相談

健康づくりや認知症や閉じこもり予防などの介護予防に関する相談を行いました。

相談件数（人）

| 年度 | 来所相談 | | 電話相談 (ヘルプダイヤル等) | 健康教育 と併設 | 合計 |
|--------|--------|------|--------------------|-------------|-------|
| | あさけプラザ | 保健所等 | | | |
| 平成24年度 | 1,830 | 340 | 331 | 20 | 2,521 |
| 平成23年度 | 4,009 | 365 | 383 | 19 | 4,776 |
| 平成22年度 | 4,133 | 319 | 228 | 383 | 5,063 |

(3) 訪問事業

健康づくりや認知症、閉じこもり予防などの介護予防に関する訪問指導を行いました。

実施者数 (人)

| 年度 | 実人員 (人) | | | 延人員 (人) | | |
|----------|---------|-----|----|---------|-----|-----|
| | 閉じこもり予防 | その他 | 計 | 閉じこもり予防 | その他 | 計 |
| 平成 24 年度 | 18 | 0 | 18 | 130 | 0 | 130 |
| 平成 23 年度 | 24 | 0 | 24 | 117 | 0 | 117 |
| 平成 22 年度 | 21 | 0 | 21 | 141 | 0 | 141 |

(4) - 1 介護予防教室 (普及啓発) (おおむね 65 歳以上の方対象)

介護予防の普及啓発に資する介護予防教室を行いました。

実施状況

| 教室 | 年度 | 回数 (回) | 利用者数 (人) | | | |
|-----------|----------|-----------|----------|-------|--------|--------|
| | | | 延人員 | 実人員 | 65 歳以上 | |
| | | | | | 65 歳未満 | 65 歳未満 |
| お達者クラブ | 平成 24 年度 | 321 | 7,915 | 1,285 | 1,256 | 29 |
| | 平成 23 年度 | 322 | 7,834 | 1,296 | 1,254 | 42 |
| | 平成 22 年度 | 431 | 10,800 | 1,343 | 1,289 | 54 |
| 体験！お達者クラブ | 平成 24 年度 | 14 | 301 | 217 | 206 | 11 |
| | 平成 23 年度 | 18 | 378 | 238 | 227 | 11 |

(4) - 2 介護予防教室 (実践教育) (おおむね 65 歳以上の方対象)

健康維持、介護予防のための実践教育を行いました。

実施状況

| 教室 | 年度 | 回数 (回) | 利用者数 (人) | | | |
|----------------|----------|-----------|----------|-------|--------|--------|
| | | | 延人員 | 実人員 | 65 歳以上 | |
| | | | | | 65 歳未満 | 65 歳未満 |
| 地域でお達者クラブ | 平成 24 年度 | 185 | 3,045 | 754 | 648 | 106 |
| | 平成 23 年度 | 476 | 7,431 | 1,323 | 1,226 | 97 |
| 元気で長生き 料理教室 | 平成 24 年度 | 25 | — | 503 | 364 | 139 |
| | 平成 23 年度 | 25 | — | 512 | 335 | 177 |
| | 平成 22 年度 | 25 | — | 542 | 367 | 175 |

栄養指導事業

1) 給食施設指導

健康増進法、健康増進法施行規則に基づき、特定多数の人に継続的に食事を供給する施設に対して栄養管理指導を行いました。

(1) 給食施設巡回指導

指導件数 (件)

| | | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 | 平成 22 年度 |
|--------|--------------|----------|----------|----------|
| 学校 | 特定給食施設指導数 | 4 | 9 | 4 |
| | 一般給食施設指導数 | 0 | 0 | 1 |
| 病院 | 特定給食施設指導数 | 10 | 10 | 10 |
| | 一般給食施設指導数 | 3 | 3 | 3 |
| 老人保健施設 | 特定給食施設指導数 | 1 | 4 | 0 |
| | 一般給食施設指導数 | 1 | 0 | 0 |
| 児童福祉施設 | 特定給食施設指導数 | 13 | 4 | 7 |
| | 一般給食施設指導数 | 11 | 16 | 10 |
| 老人福祉施設 | 特定給食施設指導数 | 1 | 2 | 3 |
| | 一般給食施設指導数 | 7 | 8 | 10 |
| 社会福祉施設 | 特定給食施設指導数(※) | - | - | - |
| | 一般給食施設指導数 | 2 | 5 | 8 |
| 事業所 | 特定給食施設指導数 | 5 | 13 | 13 |
| | 一般給食施設指導数 | 16 | 1 | 1 |
| 寄宿舍 | 特定給食施設指導数 | 0 | 2 | 0 |
| | 一般給食施設指導数 | 1 | 0 | 8 |

(※) 指導対象施設なし

(2) 給食施設研修会

実施状況

| 実施日 | 実施場所 | 参加者数 | 内容 |
|---------------------|------------------------------|------|---|
| 平成 25 年 2 月 15 日 | 三重北勢健康 増進センター (ヘルスプラザ) | 28 人 | ○ 講義 「食べる人の健康能力にあわせた 美味しい食事の提供について」 講師：NPO 法人 LET'S 食の絆 理事長 鈴鹿医療科学大学 非常勤講師 管理栄養士 五十嵐 桂葉 先生 ○ グループワーク・情報交換 |
| 平成 25 年 3 月 8 日 | 三重北勢健康 増進センター (ヘルスプラザ) | 35 人 | ○ 講義『働く世代のための時間栄養学活用法』 講師：名古屋経済大学 人間生活科学部 管理栄養学科 教授 稲井 玲子 先生 ○ グループワーク・情報交換 |

2) 栄養表示基準等に関する相談

健康増進法第 26 条、第 31 条、第 32 条に基づき、食品の表示等に関する相談を実施しました。

相談件数 (延べ件数)

| | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 | 平成 22 年度 |
|--------|----------|----------|----------|
| 特別用途食品 | 1 | 3 | 0 |
| 栄養表示基準 | 10 | 5 | 18 |
| 栄養機能食品 | 2 | 0 | 0 |

食育推進ネットワーク事業

四日市市食育推進基本計画の下、市内及び食育推進関係団体等がともに連携を進め、食に関する取り組みの充実や発展をはかる目的で、四日市市食育推進会議や啓発事業を開催しました。

実施状況

| 開催日 | 事業 | 内容 |
|----------------------|----------------------|--|
| 平成 24 年 7 月 28 日 | よっかいち 食育フェスタ 2012 | 食育推進関係団体による展示および活動紹介 食育推進のための講演会 「未来を変える“食”のチカラ」 講師：東海学園大学 健康栄養学部 学部長 西堀すき江氏 |
| 平成 24 年 7 月 10 日 | 第 1 回 四日市市食育推進会議 | 1. 四日市市食育推進基本計画の見直し 2. 食育フェスタについて |
| 平成 24 年 10 月 25 日 | 第 2 回 四日市市食育推進会議 | 1. 健康づくり（「食」と「運動」）アンケート調査結果について 2. 四日市市保健医療推進プラン（仮称）素案について 3. 食育フェスタ報告 |

三重北勢健康増進センター事業

利用状況と推移（人）

| 区 分 | | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 | 平成 22 年度 | 対前年度比 | |
|---------------|-------|----------|----------|----------|--------|-------|
| 運動施設個人使用 | | 実績 | 実績 | 実績 | 増減 | |
| プール | 一般 | 22,728 | 22,901 | 24,389 | ▲173 | 99.2 |
| | 65歳以上 | 17,096 | 15,190 | 15,260 | 1,906 | 112.5 |
| | 中学生以下 | 10,385 | 10,645 | 12,203 | ▲260 | 97.6 |
| | 小計 | 50,209 | 48,736 | 51,852 | 1,473 | 103.0 |
| トレーニングジム | 一般 | 8,037 | 9,077 | 10,212 | ▲1,040 | 88.5 |
| | 65歳以上 | 9,390 | 7,844 | 7,966 | 1,546 | 119.7 |
| | 小計 | 17,427 | 16,921 | 18,178 | 506 | 103.0 |
| ランニングトラック | 一般 | 6,934 | 6,849 | 6,791 | 85 | 101.2 |
| | 中学生以下 | 1,953 | 1,808 | 1,479 | 145 | 108.0 |
| | 小計 | 8,887 | 8,657 | 8,270 | 230 | 102.7 |
| グラウンド ゴルフ場 | 一般 | 4,093 | 3,665 | 4,772 | 428 | 111.7 |
| | 中学生以下 | 90 | 117 | 117 | ▲27 | 76.9 |
| | 小計 | 4,183 | 3,782 | 4,889 | 401 | 110.6 |
| 計 | | 80,706 | 78,096 | 83,189 | 2,610 | 103.3 |

| | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-----|-------|
| 健康度測定 | 66 | 65 | 76 | 1 | 101.5 |
| 総合体力測定 | 711 | 738 | 931 | ▲27 | 96.3 |
| 運動実践指導 | 3,530 | 3,413 | 2,930 | 117 | 103.4 |

| | | | | | | |
|------|-------|-----|-------|-------|--------|-------|
| 健康教室 | シリーズ型 | 152 | 1,995 | 3,359 | ▲1,843 | 7.6 |
| | 1回型 | 101 | 44 | 88 | 57 | 229.5 |
| 計 | | 253 | 2,039 | 3,447 | ▲1,786 | 12.4 |

| | | | | | |
|------------|-------|-------|-------|-----|------|
| 障害児等機能回復訓練 | 1,928 | 2,020 | 1,895 | ▲92 | 95.4 |
|------------|-------|-------|-------|-----|------|

| | | | | | |
|----------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 運動施設専用使用 | 17,836 | 17,591 | 21,179 | 245 | 101.4 |
| 会議施設使用 | 13,532 | 16,106 | 16,054 | ▲2,574 | 84.0 |

| | | | | | |
|-------|---------|---------|---------|--------|------|
| 利用者合計 | 118,562 | 120,068 | 129,701 | ▲1,506 | 98.7 |
|-------|---------|---------|---------|--------|------|

2) 四日市健康フェスティバル

健康に関する体験、相談ができる健康フェスティバルを開催しました。各種コーナーの展示及び施設の無料開放も同時開催しました。

実施状況

| 日時 | 会場 | 入場者数（人） | | 参加団体 |
|---------------------------------------|------------------|---------|------------|-------|
| | | 大人 | 小人※ | |
| 平成 25 年 3 月 10 日(日) 午前 10 時～午後 3 時 | 三重北勢健康増進 センター | 776 | 657 119 | 11 団体 |

※中学生以下

各コーナーの利用者数・スタッフ数（人）

| 区分 | 団体名 | 利用者数 | スタッフ数 |
|------------------|--------------------------|-------|-------|
| 団体 コー ナー | 四日市薬剤師会 | 854 | 11 |
| | 三重県鍼灸師会四日市支部 | 42 | 9 |
| | 四日市鍼灸マッサージ師会 | 132 | 6 |
| | 四日市食生活改善推進協議会（四日市ヘルスマイト） | 130 | 5 |
| | わかば共同作業所 | 137 | 6 |
| | 三重県病院薬剤師会 | 64 | 3 |
| | 四日市福祉会 垂坂山ブルーミングハウス | 64 | 4 |
| | 四日市歯科医師会 | 79 | 23 |
| | KCSセンターいなべ | 92 | 3 |
| | ヘルスリーダーの会 | 140 | 20 |
| | ステキ健康サポーターの会 | 75 | 46 |
| | | 小 計 | 1,809 |
| 各 種 施 設 | グラウンドゴルフ | 27 | |
| | プール | 211 | |
| | トレーニングジム | 83 | |
| | 卓球 | 65 | |
| | | 小 計 | 386 |
| | 合 計 | 2,195 | 136 |

食 品 衛 生

1)食品営業・届出施設の監視指導状況

過去の食中毒の発生状況、製造及び加工された食品の流通の広域性、取扱量及び営業の特殊性などを考慮し、四日市市食品衛生監視指導計画に基づき、監視を実施しました。

食中毒が発生した場合に被害が大規模となる可能性が高い集団給食施設の重点監視、食中毒の食品事故が発生しやすい夏期や多品目の食品が短期間に流通する年末年始の一斉監視を実施し、食品の衛生的な取扱いや適正表示等に関して指導を行いました。

ランク別監視指導件数

| 項目 ランク | 監視頻度 | 施設数 (件) (x) | 監視数 (件) (y) | 平成 24 年度 監視実施率 (%) ※ (Z) | 平成 23 年度 監視実施率 (%) ※ (Z) |
|-----------|-----------|-------------------|-------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| A | 2 回以上/1 年 | 131 | 294 | 112.2 | 100.4 |
| B | 1 回以上/1 年 | 165 | 174 | 105.5 | 98.5 |
| C | 1 回以上/3 年 | 4,538 | 1,281 | 84.7 | 86.4 |
| D | 必要に応じて | 1,878 | 859 | — | — |
| 合 計 | | 6,712 | 2,608 | | |

※監視頻度達成率の積算根拠は次の通りである。

$$A : z = y / 2x \times 100$$

$$B : z = y / x \times 100$$

$$C : z = 3y / x \times 100$$

業種別監視指導件数

許可業種

| 業 種 | 項 目 | 平成 24 年度 施設数 (件) | 平成 24 年度 監視数 (件) | 平成 23 年度 監視数 (件) | 平成 22 年度 監視数 (件) |
|-----------------------|-----|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 飲 食 店 営 業 | | 3,387 | 1,170 | 1,175 | 1,370 |
| 喫 茶 店 営 業 | | 848 | 68 | 207 | 58 |
| 菓 子 製 造 業 | | 366 | 171 | 168 | 191 |
| あ ん 類 製 造 業 | | 2 | 0 | 0 | 0 |
| ア イ ス ク リ ー ム 類 製 造 業 | | 71 | 48 | 50 | 45 |
| 乳 製 品 製 造 業 | | 2 | 2 | 3 | 0 |
| 乳 類 販 売 業 | | 413 | 151 | 129 | 139 |
| 食 肉 処 理 業 | | 30 | 43 | 66 | 12 |
| 食 肉 販 売 業 | | 335 | 214 | 224 | 183 |
| 食 肉 製 品 製 造 業 | | 5 | 1 | 10 | 2 |
| 魚 介 類 販 売 業 | | 377 | 185 | 177 | 228 |
| 魚 介 類 せ り 売 営 業 | | 4 | 4 | 4 | 10 |

| | | | | |
|-------------|-------|-------|-------|-------|
| 魚肉ねり製品製造業 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 食品の冷凍又は冷蔵業 | 24 | 10 | 9 | 13 |
| 清涼飲料水製造業 | 6 | 2 | 4 | 4 |
| 氷雪製造業 | 4 | 2 | 1 | 0 |
| 氷雪販売業 | 8 | 0 | 0 | 0 |
| 食用油脂製造業 | 5 | 3 | 5 | 4 |
| みそ製造業 | 9 | 1 | 2 | 0 |
| 醤油製造業 | 5 | 0 | 2 | 0 |
| ソース類製造業 | 7 | 2 | 1 | 5 |
| 酒類製造業 | 9 | 3 | 2 | 1 |
| 豆腐製造業 | 8 | 2 | 3 | 3 |
| めん類製造業 | 29 | 10 | 16 | 21 |
| そうざい製造業 | 53 | 16 | 24 | 21 |
| 缶詰又は瓶詰食品製造業 | 18 | 3 | 2 | 3 |
| 添加物製造業 | 29 | 8 | 7 | 5 |
| 合計 | 6,055 | 2,119 | 2,291 | 2,319 |

届出業種

| 項目 業種 | | 平成 24 年度 | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 | 平成 22 年度 |
|-----------------|-------------|----------|----------|----------|----------|
| | | 施設数 (件) | 監視数 (件) | 監視数 (件) | 監視数 (件) |
| 給食 | 学 校 | 36 | 27 | 27 | 23 |
| | 病 院 ・ 診 療 所 | 46 | 16 | 15 | 13 |
| | 事 業 所 | 52 | 5 | 4 | 1 |
| | そ の 他 | 135 | 43 | 35 | 32 |
| 食 品 製 造 業 | | 316 | 33 | 28 | 29 |
| 野 菜 ・ 果 物 販 売 業 | | 4 | 109 | 107 | 140 |
| そ う ざ い 販 売 業 | | 1 | 77 | 88 | 107 |
| 菓 子 販 売 業 | | 4 | 78 | 95 | 114 |
| 食 品 販 売 業 | | 59 | 101 | 99 | 136 |
| 添 加 物 製 造 業 | | 4 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | | 657 | 489 | 498 | 595 |

2) 食品等の収去検査実施状況

市内において生産、製造、加工又は販売される食品等について、四日市市食品衛生監視指導計画に基づき収去検査を実施しました。収去検査数は346検体でしたが、そのうち四日市市食品の衛生管理指標不適合は14検体あり、市内の業者であれば直接改善指導を実施し、市外での製造品の場合は管轄の地方団体に通報や調査依頼を行い再発防止に努めました。

乳以外の食品

| 分 類 | | 項 目 | 平成 24 年度 収去検体数 (件) | 規格基準 違反件数 (件) | 表示 違反件数 (件) | 市指標 不適件数 (件) | 平成 23 年度 収去検体数 (件) | 平成 22 年度 収去検体数 (件) |
|----------------------------------|-------------------------|-----|--------------------------|---------------------|-------------------|--------------------|--------------------------|--------------------------|
| 魚 | | 介 類 | 12 | 0 | 0 | 1 | 12 | 17 |
| 冷 凍 食 品 | 無加熱摂取冷凍食品 | | 2 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 |
| | 凍結直前に加熱された加熱後 摂取冷凍食品 | | 5 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 |
| | 凍結直前未加熱の加熱後摂取 冷凍食品 | | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 |
| 魚介類加工品 (かん詰・びん詰を除く。) | | | 13 | 0 | 0 | 0 | 11 | 12 |
| 肉卵類及びその加工品 (かん詰・びん詰を除く。) | | | 27 | 0 | 0 | 0 | 29 | 39 |
| 乳製 品 | | | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 3 |
| 乳類加工品(アイスクリーム類を除 き、マーガリンを含む。) | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 穀類及びその加工品 (かん詰・びん詰を除く。) | | | 26 | 0 | 0 | 0 | 25 | 28 |
| 野菜・果物及びその加工品 (かん詰・びん詰を除く。) | | | 43 | 0 | 0 | 0 | 47 | 53 |
| 菓 子 類 | | | 55 | 0 | 0 | 9 | 67 | 67 |
| 清 涼 飲 料 水 | | | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 酒 精 飲 料 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| かん詰・びん詰食品 | | | 4 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| そ の 他 の 食 品 | | | 142 | 0 | 0 | 4 | 118 | 109 |
| 器 具 及 び 容 器 包 装 | | | 4 | 0 | 0 | 0 | 6 | 6 |
| 合 計 | | | 344 | 0 | 0 | 14 | 335 | 346 |

乳

| 分類 | 項目 | 平成 24 年度 収去検体数 (件) | 規格基準 違反件数 (件) | 表示 違反件数 (件) | 平成 23 年度 収去検体数 (件) | 平成 22 年度 収去検体数 (件) |
|----|----|--------------------------|---------------------|-------------------|--------------------------|--------------------------|
| 牛 | 乳 | 2 | 0 | 0 | 2 | 2 |

拭取検査・A T P 検査 (件)

| 分類 | 項目 | 平成 24 年度 収去検体数 | 平成 23 年度 収去検体数 | 平成 22 年度 収去検体数 |
|----|--------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| | 器具等拭取検査 | 26 | 46 | 74 |
| | 器具等 A T P 検査 | 292 | 205 | 395 |

3) 有症者・食中毒(疑いを含む)、食品等の要望・申出・相談調査対応状況

「食品を食べて体調を崩した。」「食品中に異物(虫、毛等)が入っていた。」など様々な相談が寄せられ、市内での発生調査は当市で実施するとともに、広域的な食中毒事件や不良食品等の調査に際しては、関係の都道府県、政令市等と緊密な情報交換を行い、その原因究明と被害拡大防止に努めました。

要望・申出・相談・調査件数 (件)

| 分類 | 項目 | 有症者・食中毒 (疑いを含む) 相談・調査 | 食品要望 申出・相談 ・調査 | 表示 相談・調査 | 合計 |
|----|----------|-----------------------------|----------------------|-------------|-----|
| 内訳 | 当市での対応 | 25 | 63 | 22 | 110 |
| | 市外から調査依頼 | 17 | 13 | 2 | 32 |
| | 市外への調査依頼 | 5 | 5 | 0 | 10 |
| | 平成 24 年度 | 47 | 81 | 24 | 152 |
| | 平成 23 年度 | 43 | 66 | 18 | 127 |
| | 平成 22 年度 | 44 | 70 | 39 | 153 |

4) 食中毒の発生

食中毒は 1 件発生し、原因物質は腸管出血性大腸菌 O157 でした。原因施設に対して衛生指導を行い、再発防止を図りました。

| 発生年月 | 原因施設 | 患者数 | 原因食品 | 原因物質 |
|-------------|------|-----|------------------------------------|---------------|
| 平成 24 年 8 月 | 飲食店 | 13 | 不明 (8 月 11 日、12 日、13 日の夕食で提供された料理) | 腸管出血性大腸菌 O157 |

5) 食中毒警報

平成 24 年度は、食中毒警報を 2 回発令しました。関係機関に情報提供を行なうとともに、掲示板、立て看板、ホームページ、あんしん防災ねっとにて情報発信しました。

| 平成 24 年度 | | 発令 基準 | 平成 23 年度 | | 発令 基準 | 平成 22 年度 | | 発令 基準 |
|----------|----------|------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 発令月日 | 解除月日 | | 発令月日 | 解除月日 | | 発令月日 | 解除月日 | |
| 7 月 18 日 | 7 月 20 日 | (A) | 6 月 28 日 | 6 月 30 日 | (A) | 7 月 20 日 | 7 月 22 日 | (A) |
| 8 月 7 日 | 8 月 9 日 | (A) 及び (C) | 7 月 14 日 | 7 月 16 日 | (A) | 7 月 22 日 | 7 月 24 日 | (A) |
| | | | 8 月 8 日 | 8 月 10 日 | (A) | 8 月 16 日 | 8 月 18 日 | (A) |

* 食中毒警報発令基準

(A) 気温 30℃以上が 10 時間以上継続することが予想される場合

(B) 気温 25℃以上で相対湿度 90%以上が 10 時間以上継続することが予想される場合

(C) 24 時間以内に急激に気温が上昇し、その差が 10℃以上を超えることが予想される場合

* 警報の有効期間：警報発令後 48 時間

6) 食品衛生知識の普及啓発

食品等事業者の自主衛生管理の推進や市民への食品衛生知識の普及啓発などを目的として、講習会や説明会を実施しました。

「広報よっかいち」に「腸管出血性大腸菌」や「ノロウィルス」の食中毒予防のための記事を掲載し、また C TY、FMよっかいちでも食中毒防止の啓発を行った。

また、四日市食品衛生協会と共同で、8 月 13 日（月）に大型複合施設 2 店舗を借用して、来店者に食中毒防止のスポンジ、キッチンクリーナー、マスク、食中毒対策のリーフレットを配布して普及啓発しました。

食品衛生講習会等の実施状況

| 項目 | 平成 24 年度 | | 平成 23 年度 | | 平成 22 年度 | |
|----------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| | 実施回数 (回) | 参加人数 (人) | 実施回数 (回) | 参加人数 (人) | 実施回数 (回) | 参加人数 (人) |
| 講習会対象者 | | | | | | |
| 食品事業者 | 34 | 1,310 | 28 | 1,209 | 30 | 1,291 |
| 給食関係従事者 | 3 | 354 | 4 | 387 | 3 | 388 |
| 食生活改善推進員 | 2 | 63 | 2 | 54 | 1 | 32 |
| 消費者 | 26 | 456 | 22 | 357 | 23 | 385 |
| その他 | 6 | 102 | 8 | 111 | 6 | 91 |
| 合計 | 71 | 2,285 | 64 | 2,118 | 63 | 2,187 |

獣 医 務 衛 生

飼い犬に対して動物病院と協力して犬の登録及び狂犬病予防注射を実施し、また、係留されていない犬の捕獲等を行うことで狂犬病の発生予防に努めました。(犬の登録及び狂犬病予防注射関係事務は、平成 22 年度より衛生指導課が行っています。)

また、三重県動物の愛護及び管理に関する条例に基づき、動物による人への危害防止、動物取扱業の監視指導、動物の適正飼養の普及啓発を行いました。

1) 畜犬登録及び狂犬病予防注射実施状況 (頭)

| | 登録数 | | | 注射頭数 | | |
|--------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 | 平成 22 年度 | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 | 平成 22 年度 |
| 登録頭数 | 21,844 | 21,523 | 21,689 | | | |
| 新規登録数 | 1,423 | 1,506 | 1,677 | | | |
| 総注射頭数 | | | | 15,350 | 15,167 | 15,327 |
| 集合注射頭数 | | | | 2,161 | 2,423 | 2,681 |
| 家庭注射頭数 | | | | 13,189 | 12,744 | 12,646 |

2) 犬及び猫の捕獲・引取・処分状況 (頭)

| | 犬 | | | | | 猫 | | | |
|----------|-----|----|----|-----|----|-----|----|-----|----|
| | 捕獲 | 引取 | 返還 | 処分 | 譲渡 | 引取 | 返還 | 処分 | 譲渡 |
| 平成 24 年度 | 65 | 56 | 72 | 44 | 5 | 337 | 3 | 322 | 12 |
| 平成 23 年度 | 96 | 55 | 85 | 61 | 5 | 347 | 2 | 345 | - |
| 平成 22 年度 | 109 | 82 | 83 | 100 | 8 | 388 | 1 | 387 | - |

3) 畜犬及び猫の苦情・問い合わせ状況 (件)

| 区 分 | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 | 平成 22 年度 |
|-----------------|----------|----------|----------|
| 放し飼いについて | 54 | 68 | 85 |
| 飼い犬等引取について | 220 | 158 | 284 |
| 糞尿公害について | 111 | 78 | 100 |
| 死亡犬・猫収容依頼について | 165 | 147 | 242 |
| 鳴き声公害について | 97 | 150 | 52 |
| 負傷犬・猫保護依頼について | 60 | 46 | 72 |
| 咬傷事故に関する事 | 43 | 28 | 32 |
| 犬登録・狂犬病予防注射について | 1186 | 844 | 904 |
| 野犬等捕獲依頼について | 108 | 110 | 131 |
| 犬譲渡依頼について | 132 | 141 | 232 |
| 失踪・拾得犬・猫照会について | 835 | 851 | 973 |
| その他 | 745 | 866 | 935 |
| 総 数 | 3,756 | 3,487 | 4,042 |

4) 動物取扱業届出数及び監視状況 (件)

| | 登録数 | 総施設数 | 区 分 | | | | | 計 |
|----------|-----|------|-----|----|----|----|----|-----|
| | | | 販売 | 保管 | 貸出 | 訓練 | 展示 | |
| 平成 24 年度 | 登録数 | 75 | 47 | 36 | 1 | 9 | 6 | 99 |
| | 監視数 | 27 | 19 | 16 | 0 | 6 | 1 | 42 |
| 平成 23 年度 | 登録数 | 75 | 49 | 33 | 2 | 11 | 5 | 100 |
| | 監視数 | 33 | 19 | 16 | 2 | 8 | 4 | 49 |
| 平成 22 年度 | 登録数 | 73 | 50 | 33 | 2 | 11 | 5 | 101 |
| | 監視数 | 33 | 22 | 13 | 0 | 1 | 5 | 41 |

平成 24 年 6 月 1 日より新しく取扱業と規定された「競りあっせん業」「譲受飼養業」の登録は 24 年度末現在ありません。

5) 動物による咬傷事故状況 (届出件数)

| | 犬 | 犬以外 |
|----------|----|-----|
| 平成 24 年度 | 12 | 0 |
| 平成 23 年度 | 11 | 0 |
| 平成 22 年度 | 12 | 0 |

6) 特定動物飼養状況 (件)

| | 大 | 小 |
|----------|-------------|-----------|
| 平成 24 年度 | 1 (ヨウスコウワニ) | 1 (ニホンザル) |
| 平成 23 年度 | 2 (ヨウスコウワニ) | 1 (ニホンザル) |
| 平成 22 年度 | 2 (ヨウスコウワニ) | 1 (ニホンザル) |

生活衛生

旅館業、公衆浴場、興行場、理容業、美容業、クリーニング業等、日常生活に密着した営業に対して、その衛生水準の確保と向上を目指して、営業の許可・確認検査及び監視指導を行いました。

1) 営業施設数及び監視件数等の状況

| | 施設数 | 開設数 | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 | 平成 22 年度 |
|---------|-----|-----|----------|----------|----------|
| | | 廃止数 | 監視件数 | 監視件数 | 監視件数 |
| 理 容 所 | 284 | 8 | 77 | 78 | 88 |
| | | 8 | | | |
| 美 容 所 | 560 | 27 | 91 | 87 | 116 |
| | | 21 | | | |
| クリーニング所 | 374 | 5 | 19 | 57 | 42 |
| | | 6 | | | |

| | | | | | |
|------|-------|--------|-----|-----|-----|
| 公衆浴場 | 37 | 0 2 | 22 | 26 | 27 |
| 興行場 | 8 | 1 1 | 3 | 3 | 3 |
| 旅館業 | 75 | 3 4 | 33 | 28 | 12 |
| 総数 | 1,338 | | 245 | 279 | 288 |

薬務

1) 不正大麻・けし撲滅運動

大麻、けしの不正栽培及び自生大麻、けしを撲滅するため、市民に対しポスター、リーフレット（厚生労働省編「けし・大麻の見分け方」）による啓発を行なうとともに、その発見に努めました。

管内における自生けしの発見は 172 地域、62,659 本あり、除去焼却しました。

◇不正大麻・けし撲滅運動期間：平成 24 年 4 月 1 日～6 月 30 日

2) 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動

国連決議による「6.26 国際麻薬乱用撲滅デー」に合わせて、薬物乱用防止啓発運動を実施しました。

◇運動期間：平成 24 年 6 月 20 日～7 月 19 日

◇ 内部地区「麻薬・覚せい剤乱用防止 住民フォーラム」：平成 24 年 7 月 11 日

内部地区市民センターにて、「みんなで考えよう～薬物乱用防止は地域のチカラで～」と題し、中学校 P T A、薬剤師、保護司、警察、保健所の立場から発言を行い住民と共に薬物乱用についての知識の共有を図りました。

参加者：94 名（地域住民、スタッフ含め）

◇街頭キャンペーン：平成 25 年 3 月 3 日

日永地区南部丘陵公園北ゾーンマンドリンの森にて薬物乱用防止キャラバンカーを配置し、乱用薬物に関するパネルコーナーを設け、啓発活動を実施しました。

参加者：2,500 人（地域住民、スタッフ含め）

3) 薬物乱用防止教室の推進

薬物乱用防止教室講師の資質向上のため、薬物乱用防止指導員、啓発団体、教職員等を対象に研修会を行いました。

◇「薬物乱用防止セミナー」：平成 24 年 8 月 30 日 参加者：125 人

4) 麻薬・覚醒剤乱用防止運動

◇運動期間：平成 24 年 10 月 1 日～11 月 30 日

◇広報啓発：平成 24 年 10 月 1 日～10 月 10 日

CTY「ちゃんねるよっかいち」において薬物乱用防止番組を作成し啓発を行いました。

◇街頭啓発：平成24年10月19日

近鉄四日市駅北口・ふれあいモールにおいて啓発用物品の配付を行いました。

5) 薬事法等に基づく指導

薬局及び医薬品販売業者に対し、薬事法改正に係る指導及び薬局等構造設備規則の遵守指導、医薬品販売の適正管理指導を行いました。

毒物劇物登録業者及び業務上取扱者に対し、毒物及び劇物取締法による遵守指導を行いました。

麻薬施用機関及び小売業者に対し、麻薬及び向精神薬の取扱管理の適正化指導を行いました。

(1) 薬務六法に基づく施設数及び監視数

| 業 種 | | 事 項 | 許可・届出 数 | 平成24 年度 監視数 | 平成23 年度 監視数 | 平成22 年度 監視数 |
|--------------|---------------------|-----------|------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 医 薬 品 | 薬 局 | | 151 | 91 | 96 | 76 |
| | 薬 局 製 造 医 薬 品 製 造 業 | | 15 | 3 | 11 | 6 |
| | 薬 局 製 造 販 売 業 | | 15 | 3 | 11 | 6 |
| | 店 舗 販 売 業 | | 41 | 32 | 16 | 20 |
| | 薬 種 商 販 売 業 | | 0 | 0 | 10 | 7 |
| | 特 例 販 売 業 | | 1 | 1 | 1 | 4 |
| | 業 務 上 取 り 扱 う 施 設 | | | 26 | 27 | 22 |
| 医 薬 部 外 品 | 販 売 業 | | | 114 | 111 | 99 |
| | 業 務 上 取 り 扱 う 施 設 | | | 33 | 26 | 23 |
| 化 粧 品 | 販 売 業 | | | 68 | 89 | 83 |
| | 業 務 上 取 り 扱 う 施 設 | | | 23 | 10 | 8 |
| 医 療 機 器 | 販 売 業 | 高度管理医療機器等 | 114 | 65 | 48 | 52 |
| | | 管理医療機器 | 737 | 145 | 147 | 125 |
| | | 一般医療機器 | | 148 | 147 | 131 |
| | 賃 貸 業 | 高度管理医療機器等 | 58 | 33 | 24 | 30 |
| | | 管理医療機器 | 38 | 39 | 28 | 44 |
| | | 一般医療機器 | | 41 | 28 | 50 |
| | 業 務 上 取 り 扱 う 施 設 | | | 26 | 27 | 23 |

| 業 種 | | 事 項 | 許可・届出 数 | 平成 24 年度 監視数 | 平成 23 年度 監視数 | 平成 22 年度 監視数 |
|-------------------|-----------------|-----------|------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 毒物劇物 | 一 般 販 売 業 | | 193 | 105 | 99 | 111 |
| | 農 業 用 品 目 販 売 業 | | 35 | 14 | 21 | 11 |
| | 特 定 品 目 販 売 業 | | 5 | 2 | 2 | 3 |
| | 業務上取扱者 | 電 気 メ ッ キ | 2 | 1 | 1 | 0 |
| | | 運 送 業 | 13 | 7 | 6 | 3 |
| 非 届 出 業 務 上 取 扱 者 | | | 47 | 57 | 78 | |
| 麻 薬 | 小 売 業 | | | 59 | 49 | 53 |
| | 病 院 | | | 20 | 22 | 20 |
| | 一 般 診 療 所 | | | 3 | 2 | 0 |
| | 家 畜 診 療 所 | | | 1 | 1 | 1 |
| 覚 醒 剤 | 施 用 機 関 | | | 1 | 2 | 6 |
| | 原 料 取 扱 者 | | | 118 | 121 | 98 |
| 総 数 | | | 1,418 | 1,269 | 1,240 | 1,193 |

結核対策

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、結核患者に対する適正医療の提供、確実な治療支援及び接触者に対する健康診断の実施を通して、結核のまん延防止に努めました。

また、結核の発生防止のため、予防接種・定期健康診断の受診勧奨と正しい知識の普及啓発を進めることで、結核の予防を図りました。

1) 結核登録患者の状況

(1) 新登録患者数 (人) (活動性分類・年齢階級別)

平成 24 年 1 月 1 日～平成 24 年 12 月 31 日

| 分類別 年齢 | 活 動 性 結 核 | | | | | | | | 非結核 性抗酸 菌症 (別掲) | |
|-----------|-----------|-------------|-------------|---------|-------------------|------------|-----------------|------------------|--------------------------|---|
| | 総 数 | 肺 結 核 活 動 性 | | | | | 肺外結 核活動 性 | 潜在性 結核感 染症 | | |
| | | 総 数 | 喀 痰 塗 抹 陽 性 | | その他 の結核 菌陽性 | 菌陰性 その他 | | | | |
| | | 総 数 | 初 回 治 療 | 再治 療 | | | | | | |
| 総 数 | 56 | 30 | 13 | 13 | 0 | 10 | 7 | 13 | 13 | 0 |
| 0～4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 5～9 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 10～14 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 |
| 15～19 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 |

| | | | | | | | | | | |
|-------|----|----|---|---|---|---|---|----|---|---|
| 20～29 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 |
| 30～39 | 3 | 3 | 2 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 40～49 | 3 | 2 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 50～59 | 6 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 4 | 0 |
| 60～69 | 12 | 10 | 5 | 5 | 0 | 1 | 4 | 2 | 0 | 0 |
| 70～ | 23 | 12 | 4 | 4 | 0 | 7 | 1 | 11 | 0 | 2 |

(2) 新登録患者数・罹患率の推移 () は、感染性肺結核の再掲

| | 平成 24 年 | 平成 23 年 | 平成 22 年 |
|----------------|-----------|-----------|-----------|
| 新登録患者数 (人) | 43 (13) | 61 (22) | 54 (17) |
| 罹患率 (人口 10 万対) | 13.7 | 19.4 | 17.2 |

※新登録患者のうち、潜在性結核感染症除く

(3) 年末現在登録者数 (人) (活動性分類・受療状況別)

平成 24 年 12 月 31 日現在

| 分類別 区分 | 総数 | 肺結核活動性 | | | | 肺 外 結 核 活動性 | 潜在性結核感 染症 | | 不活動 性結核 | 活動性 不明 |
|-----------|-----|----------|-----|------------------------|------------|-------------------|--------------|----------|------------|-----------|
| | | 登録時喀痰陽性 | | その他 の 結核菌 陽 性 | 菌陰性 その他 | | 治療中 | 治療 終了 | | |
| | | 初回 治療 | 再治療 | | | | | | | |
| 総 数 | 122 | 6 | 1 | 6 | 4 | 14 | 8 | 18 | 64 | 1 |
| 入 院 | 3 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 外来医療 | 36 | 4 | 1 | 6 | 4 | 13 | 8 | 0 | 0 | 0 |
| 医療なし | 83 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 18 | 64 | 1 |
| 不 明 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

2) 感染症診査協議会における結核医療診査状況

(1) 感染症法第 37 条の 2 申請状況 (一般患者に対する医療)

平成 24 年 1 月 1 日～平成 24 年 12 月 31 日

| | 総数 | 被用者保険 | | 国民健康保険 | | | 後期 高齢者 | 生活 保護 | 自費 |
|------|----|-------|----|--------|------|------|-----------|----------|----|
| | | 本人 | 家族 | 一般 | 退職本人 | 退職家族 | | | |
| 申請件数 | 76 | 25 | 6 | 16 | 0 | 0 | 26 | 3 | 0 |
| 合格件数 | 74 | 23 | 6 | 16 | 0 | 0 | 26 | 3 | 0 |
| 承認件数 | 74 | 23 | 6 | 16 | 0 | 0 | 26 | 3 | 0 |

(2) 感染症法第37条申請状況 (入院患者の医療)

平成24年1月1日～平成24年12月31日

| | 総数 | 新規申請 | 継続申請 | 再申請 | 解除報告 |
|------|----|------|------|-----|------|
| 申請件数 | 63 | 20 | 43 | 0 | 26 |
| 合格件数 | 63 | 20 | 43 | 0 | |
| 承認件数 | 63 | 20 | 43 | 0 | |

(3) 感染症法第37条による結核医療費の被保険者別状況

平成24年1月1日～平成24年12月31日

| | 総数 | 被用者保険 | | 国民健康保険 | | | 後期高齢者 | 生活保護 | 自費 |
|----------|----|-------|----|--------|------|------|-------|------|----|
| | | 本人 | 家族 | 一般 | 退職本人 | 退職家族 | | | |
| H23年末現在 | 9 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 |
| H24年承認件数 | 20 | 4 | 1 | 3 | 0 | 0 | 9 | 3 | 0 |
| H24年解除件数 | 26 | 7 | 1 | 2 | 0 | 0 | 13 | 3 | 0 |
| H24年末現在 | 3 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |

4) 結核検診

(1) 定期診断及び定期外診断実施状況 (人)

平成24年度

| 区分 | 対象別 | 実施者数 | 予防接種 | | ※QFT検査 | | 間接撮影 (直接撮影) | |
|-----|------|--------|-------|------|--------|------|-------------------|-------|
| | | | 6ヶ月未満 | 1歳未満 | 受診者数 | 感染者数 | 受診者数 | 患者発見数 |
| 定期 | 総数 | 24,336 | 2,651 | 25 | | | 5,881 (15,779) | 0 |
| | 事業所 | 11,123 | | | | | 1,167 (9,956) | 0 |
| | 学校 | 4,490 | | | | | 4,362 (128) | 0 |
| | 施設 | 1,409 | | | | | 352 (1,057) | 0 |
| | 一般住民 | 7,314 | 2,651 | 25 | | | 0 (4,638) | 0 |
| 接触者 | 総数 | 208 | | *4 | 111 | 13 | (93) | 1 |
| | 患者家族 | 104 | | *4 | 48 | 5 | (52) | 1 |
| | その他 | 104 | | 0 | 63 | 8 | (41) | 0 |
| | 管理検診 | 34 | | | | | (34) | 0 |

*ツベルクリン反応検査

※QFT検査(クオンティンフェロン):結核菌に感染しているかどうかを調べる血液検査です。

5) 結核健康相談開催

(1) 結核接触者健診及び管理健診

| | |
|-------|------|
| 接触者健診 | 208件 |
| 管理健診 | 34件 |

(2) 保健指導 随時実施 (DOTS 実施件数含)

| | |
|--------|------|
| 訪問指導件数 | 160件 |
| 所内面接件数 | 91件 |
| 電話相談件数 | 627件 |

6) 直接服薬確認 (DOTS) 事業

(1) DOTS支援状況 (人)

| | 対象者数 | 支援方法 | | |
|--------|------|----------|-------|----------|
| | | 面接・訪問 | 郵送 | 電話連絡 |
| 平成24年度 | 63 | 24 (90) | 4 (5) | 36 (161) |
| 平成23年度 | 75 | 22 (117) | 0 (0) | 53 (247) |
| 平成22年度 | 70 | 20 | 9 | 54 |

平成22年度：実施方法を途中で変更、実施方法別人数の合計は対象者数と一致しません。

平成23年度、24年度 () 内は、延人数

(2) DOTSカンファレンス実施状況 平成24年度

| 実施場所 | 実施日 | 参加者 | 検討数 |
|-----------|-----------------|-----------------------------|-------------------|
| 四日市社会保険病院 | 毎月1回 (年間12回) | 病棟看護師、外来DOTS担当看護師 保健所保健師 | 年間24件 (入院DOTS) |

地域精神保健福祉対策

1) 措置・移送業務

「精神保健福祉法」に基づき、精神障害者の医療及び保護を行い、社会復帰の促進及びその自立と社会経済活動への参加の促進のために必要な援助を行い、その発生の予防その他、精神的健康の保持増進に努めました。

(1) 精神障害者保護取扱状況

(単位:件)

| | 申請・通報件数 | | | | | | 通報等による 調査結果の 処 理 | | 指 定 医 診 察 結 果 | | 措置非該当の 場合の結果 | |
|--------|---------|------|------|------|------|------------|------------------------|----------|------------------|-----------|-----------------|-----|
| | 計 | 法23条 | 法24条 | 法25条 | 法26条 | 法26条 の2 | 鑑定 必要 | 鑑定 不要 | 措置 該当 | 措置 非該当 | 医療保 護入院 | その他 |
| 平成24年度 | 45 | 2 | 43 | | | | 45 | 0 | 27 | 18 | 9 | 9 |
| 平成23年度 | 39 | | 39 | | | | 39 | 0 | 26 | 13 | 7 | 6 |
| 平成22年度 | 29 | | 29 | | | | 29 | 0 | 18 | 11 | 5 | 6 |

※精神保健福祉法

第23条：親族又は一般人からの申請

第24条：警察官の通報

第25条：検察官の通報

第26条・・・矯正施設の長の通報

第26条の2：精神科病院の管理者の届出

(2) 病名別・措置入院者数

(単位:件)

| | 総 数 | 統 合 失 調 症 | そ う う つ 病 | 心 因 反 応 | 非 定 型 精 神 病 | 急 性 そ う 病 | 人 格 障 害 | 覚 醒 剤 中 毒 | ア ル コ ー ル | 依 存 症 | そ の 他 |
|------------------|--------|-----------------------|-----------------------|------------------|----------------------------|-----------------------|------------------|-----------------------|-----------------------|-------------|-------------|
| 男 性 | 20 | 10 | 2 | 1 | | | 1 | | 2 | | 4 |
| 女 性 | 7 | 3 | | | | | | | | | 4 |
| 平成24年度 措置患者総数 | 27 | 13 | 2 | 1 | | | 1 | | 2 | | 8 |
| 平成23年度 措置患者総数 | 26 | 14 | 2 | | 2 | | 1 | | | | 7 |
| 平成22年度 措置患者総数 | 18 | 10 | 3 | 1 | 1 | | | | | | 3 |

(3) 酒に酔って公衆に迷惑をかける行為の防止等に関する法律関係

警察官による法第7条通報に基づき、アルコール依存症の疑いのあるものについて、必要な支援を実施しました。(単位:件)

| | 平成24年度 | 平成23年度 | 平成22年度 |
|---------|--------|--------|--------|
| 警察官7条通報 | 0 | 0 | 1 |

(4) 三泗地域精神保健福祉連絡会議

三泗地域における地域精神保健福祉対策を総合的かつ効果的に推進するため、それぞれの精神保健福祉関係者と協議し、関係機関の連携の強化を図りました。

開催日：平成24年7月12日(木)

出席者数：12名

内容：三泗地域精神保健福祉関係者の連携、関係機関の連絡及び調整について

2) 手帳・医療の助成業務

(1) 精神障害者保健福祉手帳交付状況 (単位:件)

| 等級 | 平成24年度 | 平成23年度 | 平成22年度 |
|----|--------|--------|--------|
| 1級 | 167 | 172 | 163 |
| 2級 | 1,022 | 904 | 836 |
| 3級 | 337 | 305 | 293 |
| 合計 | 1,526 | 1,381 | 1,292 |

(2) 自立支援医療費(精神通院)受給者証交付状況 (単位:件)

| | 平成24年度 | 平成23年度 | 平成22年度 |
|-----|--------|--------|--------|
| 交付数 | 4,872 | 4,706 | 4,490 |

3) 地域精神保健福祉対策業務

(1) 精神保健福祉相談

精神疾患の治療やその対応等について、相談指導に医師、精神保健福祉士、保健師等が応じ、社会復帰の促進及び自立と社会参加の促進を図りました。また、医療や福祉を必要とする精神障害者に適切な関係機関を紹介しました。

対象 本人、家族、その他

周知方法 よっかいち広報掲載、CTY、FMよっかいち、チラシ配布など

場所 四日市市総合会館など

① 医師による精神保健福祉相談

日時 原則 毎月第2・4金曜日 年15回

スタッフ 精神科医師・保健師等

結 果

(単位:件)

| | | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 | 平成 22 年度 |
|----------|-------------|----------|----------|----------|
| 来所相談の総件数 | | 4 6 | 3 6 | 5 9 |
| 相談者内訳 | 本人 | 1 2 | 3 | 1 1 |
| | 本人と家族 | 1 9 | 6 | 7 |
| | 家族のみ | 2 | 1 7 | 4 1 |
| | その他 (関係者など) | 1 3 | 3 3 | 4 |
| 治療状況 | 治療中 | 1 4 | 2 0 | 3 0 |
| | 未治療・治療中断 | 1 7 | 2 8 | 3 1 |
| | その他 | 1 5 | 1 1 | 2 |

家庭訪問

(単位:件)

| | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 | 平成 22 年度 |
|-----------|----------|----------|----------|
| 医師の家庭訪問件数 | 5 | 7 | 3 |

※ 保健師との同行訪問

② 精神保健福祉士による精神保健福祉相談

日 時 原則 毎月第 2 ・ 最終火曜日 年 24 回

スタッフ 精神保健福祉士・保健師

結 果

単位:件数

| | | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 |
|----------|-------------|----------|----------|
| 来所相談の総件数 | | 2 3 | 5 3 |
| 相談者内訳 | 本人 | 1 0 | 3 2 |
| | 本人と家族 | 6 | 1 1 |
| | 家族のみ | 0 | 5 |
| | その他 (関係者など) | 7 | 5 |
| 治療状況 | 治療中 | 1 4 | 2 8 |
| | 未治療・治療中断 | 3 | 1 1 |
| | その他 | 6 | 1 4 |

家庭訪問

単位:件数

| | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 |
|----------------|----------|----------|
| 精神保健福祉士の家庭訪問件数 | 3 3 | 1 7 |

※保健師との同行訪問

③ 保健師等による精神保健福祉相談

スタッフ 保健師等

結 果

(単位:件)

| | | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 | 平成 22 年度 |
|--------|----|----------|----------|----------|
| 相談の総件数 | | 1, 7 8 6 | 1, 4 9 7 | 1, 4 4 7 |
| 内訳 | 面接 | 3 6 3 | 2 7 2 | 3 6 0 |
| | 電話 | 1, 2 5 1 | 1, 0 0 3 | 8 3 4 |
| | 訪問 | 1 7 2 | 2 2 2 | 2 5 3 |

※訪問については医師・精神保健福祉士との同行訪問を除く。

※平成 24 年度 未治療・治療中断相談件数 延 206件

【実人員 48 件 内治療に繋がったケース 41 件】

※平成 23 年度 未治療・治療中断相談件数 延 105 件

【実人員 21 件 内治療に繋がったケース 17 件】

※平成 22 年度 未治療・治療中断相談件数 延 162 件

【実人員 40 件 内治療に繋がったケース 33 件】

(2) 普及啓発

① こころの健康講座

こころの病気に対する無理解、偏見、差別の解消のため、病気や精神障害に関する正しい知識の普及啓発を行い、精神障害者を地域で支える体制づくりのリーダーを養成しました。

対 象 市民
 日 時 平成 24 年 10 月 29 日 (月)
 場 所 四日市市勤労者・市民交流センター
 回 数 年 1 回
 内 容

| | 内 容 | 講 師 |
|------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 13:30 ~ 15:00 | 「不安や心配との上手な付き合い方」 | 愛知淑徳大学 非常勤講師 臨床心理士 北川 睦 先生 |
| 15:15 ~ 16:15 | 「うつ病などの身近なこころの病について」 | 三重県こころの健康センター所長 精神科医師 井上 雄一朗 先生 |
| 16:15 ~ 16:30 | メンタルパートナー研修 DVD 視聴「こころの声に耳を傾けて」 | 四日市市保健所 保健師 宮田 貴史 |

結 果

| | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 | 平成 22 年度 |
|-------|----------|----------|----------|
| 参加者人数 | 1 0 2 | 6 8 | 1 8 3 |
| 講座回数 | 1 | 4 | 5 |

② こころの健康講座業務委託（四日市市北地域包括支援センター委託事業）

精神疾患や精神障害者に関する正しい知識の理解を深めるための研修及び講習について、在宅医療、福祉を支える専門職員に対し、その実態やニーズに合った内容で企画のうえ実施しました。

| | |
|-----|--------------------------------|
| 対 象 | 包括支援センター等の在宅医療・福祉を支える職員等 |
| 日 時 | 平成 25 年 2 月 23 日（日）18：30～20：15 |
| 場 所 | 四日市港ポートビル 2 階 大会議室 |
| 内 容 | 「高齢者とうつ病」・事例検討 |
| 結 果 | 参加者 48 名 |

③ こころの健康講座継続研修業務委託（わかば共同作業所委託事業）

精神保健福祉講座の受講者に対して、約 3 カ月後に継続研修を実施し、精神疾患及び精神障害者の理解を深め、地域資源との継続的な関わりにより質的向上を図りました。また、施設などの協力を得て、人材活用を図りながら地域で支える体制づくりを整えていく研修を実施しました。

| | |
|-----|--|
| 対 象 | 精神保健福祉講座受講者 102 名 及びハートフル会 会員 |
| 日 時 | 平成 24 年 1 月 17 日（木）13：30～15：30 |
| 場 所 | 四日市市文化会館 第 4 ホール |
| 内 容 | 講義（わかば共同作業所所長） メンバーの体験発表 グループワーク |
| 結 果 | 参加者 16 名 当事者 19 名 |

④ こころの健康づくり講演会

地域住民がこころの健康の保持、増進を図り、こころの健康や病気について正しい知識を得ることで、適切に相談や受診につながるよう実施しました。

| | |
|-----|--|
| 対 象 | 市民 |
| 日 時 | 平成 24 年 8 月 17 日（金）19:00～21:00 |
| 場 所 | 四日市市文化会館 第 2 ホール |
| 内 容 | 講演 しがみつかない生き方～ラクなこころでふつうの幸せを～ 講師 香山 リカ 氏 |
| 結 果 | 参加者 600 名 |

⑤ 地区出前講座・地区依頼健康教育

| | |
|------|------------------------------|
| 回 数 | 26 回 |
| 参加人数 | 954 名 |
| 内 容 | ・うつ病の予防・こころのバリアフリー・精神疾患の理解 等 |

(3) 自殺予防対策

① 自殺対策連絡会議

本市の現状を把握し、各関係機関が課題等の実態を共有し、関係機関に訪れた人の日常の中に隠れている自殺の兆候に気付き、支援体制を整えるなど市内の総合的な取り組みを行っていくための情報共有、研修、情報交換等を実施し、相談に対する職員の意識の向上を図りました。

| | |
|-----|--|
| 対 象 | 人権施策推進委員会相談体制部会員 四日市市人権にかかる相談ネットワーク連絡会会員 各地区市民センター、楠総合支所職員 自殺予防対策に係る関係職員 等 |
| 日 時 | 平成 24 年 10 月 5 日 (金) 13 : 30~15 : 30 |
| 場 所 | 四日市市総合会館 |
| 内 容 | ◎ 「四日市市の自殺の現状と取組み」 「関係部署の自殺に係る現状と課題共有」 四日市市保健所 保健予防課 ◎ 講義 「アルコールとうつと自殺 ～飲酒問題の視点を取り入れた窓口対応とは～」 講師 かすみがうらクリニック アルコール専門外来 猪野 亜朗 医師 |
| 結 果 | 参加 45 名 |

② 自殺予防週間 広報啓発、庁内関係部署へのポスター配布等

9 月 広報おしらせ版掲載 「ひとりのいのち たいせつな命」
庁内関係部署にポスター配布
(人権センター、保護課、介護高齢福祉課、市民消費生活相談室、
障害福祉課、男女共同参画課、児童福祉課 等)
ホームページ、庁内掲示板啓発、FM よっかいち啓発

③ 自殺対策強化月間 広報・健康だより・路線バス・公用車による啓発等

3 月 市内の路線バスのバスマスク掲示 (1 カ月)
広報おしらせ版掲載
健康だより発行
公用車にマグネット貼付による啓発
庁内関係部署、医療機関等にポスター、ティッシュ配布
ホームページ、庁内掲示板啓発、FM よっかいち啓発

④ メンタルパートナー養成研修

自殺予防について正しい知識を持ち、身近な人の変化に気づき、自殺を考えている人、悩んでいる人を相談窓口等へつなぐ役割が期待される人の養成を実施し、支援のネットワークづくりに努めました。

内 容 自殺の現状とその背景にある問題、自殺のサイン、声のかけ方
メンタルパートナーとしての役割等 (DVD 視聴含)

回数 23回
参加者 1,508名（研修・講座・講演会等重複）

⑤ メンタルパートナー指導者養成研修

地域で自殺対策を推進していく立場にある方、地域や職場でリーダー的立場にある方などを対象に、メンタルパートナー養成研修の講師として、必要な知識等を深め、メンタルパートナー養成研修のすすめ方などを学び、メンタルパートナーを養成し、幅広く効果的に地域に根ざした支援体制づくりに努めました。

内容 自殺の現状及び背景・自殺対策及びメンタルパートナーの役割
メンタルパートナー養成研修の内容について
DVD「心の声に耳を傾けてください」視聴（約15分）
演習「自殺相談場面のロールプレイ」
アセスメント（評価）と対応・相談場面での心得 等

回数 1回

参加者 34名

（４）組織の育成・支援

① 精神保健福祉ボランティア（ハートフル会）支援

地域において精神障害者等を支えるボランティアに対して、活動の支援を行いました。

対象 精神保健福祉ボランティア（ハートフル会）
支援回数 年 3回（定例会） 年 5回（当事者会）
内容 定例会の出席・デイケア当事者会参加

② 地域家族会支援

地域で精神障害者の家族が共に助け合い生活していくため家族会に対して支援を行いました。

対象 地域家族会「ほうれん草の会」
支援回数 年 8回
内容 定例会の出席

③ 若年者早期支援事業

若年者の統合失調症を中心とした精神疾患の早期発見、早期治療に取り組むため、医療機関、教育委員会、保健所が連携を図り早期支援体制づくりに努めました。

内容 早期支援ネットワーク会議（本会議）の参加 3回
庁内会議参加 12回

生徒への出前授業

対象 市内中学校
内容 ストレスの理解、チェック、解消法、リラックス法等
結果 中学校 4回 565名

教職員・スクールカウンセラー等啓発研修 2回

教職員等出前研修会 2回 63人

教職員等出前事例検討会 2回 2事例

④ 四日市アルコールと健康を考えるネットワーク支援会議

四日市地域の医療機関や職域及び地域の関係機関の関係者が連携を図り、アルコール依

存症等の研究、啓発、情報交換を行っているネットワークに対して支援を行いました。

連携会議出席回数 6回

(5) 地域等における連携会議

こころの病などで悩む人への支援を実施するため、地域及び関係機関等において情報の共有、検討を図るため会議に出席しました。

連携会議出席回数 16回

(6) 医療観察法に基づいたケア会議

心神喪失又は心神耗弱の状態、重大な他害行為を行った精神障害者に対して、医療の保護と社会復帰の促進のため、保護観察所が主催するケア会議に出席し、地域支援を行いました。

対象件数 2件 家庭訪問 5回 ケア会議出席回数 6回

難病対策

国が指定した 56 の特定疾患を治療研究事業の対象とした医療費の給付制度があり、治療費の自己負担の軽減が図られています。本市では、申請の受付、三重県桑名保健福祉事務所への経由事務を行いました。

1) 特定疾患医療受給者証認定状況

年度末現在認定者数 (人)

| | | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 | 平成 22 年度 |
|----|-------------------------------|----------|----------|----------|
| 1 | ベ ー チ ョ ッ ト 病 | 4 5 | 4 3 | 4 2 |
| 2 | 多 発 性 硬 化 症 | 4 5 | 4 4 | 4 3 |
| 3 | 重 症 筋 無 力 症 | 3 7 | 3 6 | 3 2 |
| 4 | 全 身 性 エ リ テ マ ト ー テ ー ス | 1 3 6 | 1 3 8 | 1 4 0 |
| 5 | ス モ ン | 8 | 8 | 8 |
| 6 | 再 生 不 良 性 貧 血 | 2 0 | 2 5 | 2 4 |
| 7 | サ ル コ イ ド ー シ ス | 6 9 | 6 5 | 5 7 |
| 8 | 筋 萎 縮 性 側 索 硬 化 症 | 2 5 | 3 0 | 3 2 |
| 9 | 強 皮 症 ・ 皮 膚 筋 炎 及 び 多 発 性 筋 炎 | 1 8 8 | 1 8 6 | 1 8 0 |
| 10 | 特 発 性 血 小 板 減 少 性 紫 斑 病 | 9 8 | 9 7 | 9 3 |
| 11 | 結 節 性 動 脈 周 囲 炎 | 2 7 | 2 4 | 2 2 |
| 12 | 潰 瘍 性 大 腸 炎 | 4 0 7 | 3 9 0 | 3 7 0 |
| 13 | 大 動 脈 炎 症 候 群 | 1 1 | 1 1 | 9 |
| 14 | ビ ュ ル ガ ー 病 | 1 4 | 1 3 | 1 2 |
| 15 | 天 疱 瘡 | 8 | 8 | 8 |
| 16 | 脊 髄 小 脳 変 性 症 | 6 8 | 5 9 | 5 4 |
| 17 | ク ロ ー ン 病 | 1 1 2 | 1 0 1 | 9 6 |
| 18 | 難 治 性 の 肝 炎 の う ち 劇 症 肝 炎 | 1 | 0 | 0 |
| 19 | 悪 性 関 節 リ ウ マ チ | 1 2 | 1 2 | 1 3 |

| | | | | |
|----|--------------------|-------|-------|-------|
| 20 | パーキンソン病関連疾患 | 363 | 341 | 316 |
| 21 | アミロイドーシス | 6 | 4 | 3 |
| 22 | 後縦靭帯骨化症 | 104 | 99 | 96 |
| 23 | ハンチントン病 | 3 | 3 | 3 |
| 24 | モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症) | 47 | 43 | 37 |
| 25 | ウェゲナー肉芽腫症 | 2 | 2 | 3 |
| 26 | 特発性拡張型(うっ血型)心筋症 | 101 | 104 | 102 |
| 27 | 多系統萎縮症 | 37 | 37 | 39 |
| 28 | 表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型) | 2 | 2 | 2 |
| 29 | 膿疱性乾癬 | 7 | 7 | 7 |
| 30 | 広範脊柱管狭窄症 | 3 | 3 | 3 |
| 31 | 原発性胆汁性肝硬変 | 74 | 70 | 67 |
| 32 | 重症急性膵炎 | 8 | 7 | 2 |
| 33 | 特発性大腿骨頭壊死症 | 32 | 28 | 29 |
| 34 | 混合性結合組織病 | 23 | 20 | 20 |
| 35 | 原発性免疫不全症候群 | 2 | 3 | 3 |
| 36 | 特発性間質性肺炎 | 21 | 23 | 19 |
| 37 | 網膜色素変性症 | 38 | 35 | 34 |
| 38 | プリオソン病 | 1 | 1 | 2 |
| 39 | 肺動脈性肺高血圧症 | 10 | 9 | 8 |
| 40 | 神経繊維腫症 | 7 | 7 | 10 |
| 41 | 亜急性硬化性全脳炎 | 0 | 0 | 0 |
| 42 | バット・キアリ症候群 | 1 | 1 | 1 |
| 43 | 慢性血栓塞栓性肺高血圧症 | 3 | 2 | 3 |
| 44 | ライソゾーム病 | 8 | 8 | 7 |
| 45 | 副腎白質ジストロフィー | 1 | 1 | 1 |
| 46 | 家族性高コレステロール血症 | 0 | 0 | 0 |
| 47 | 脊髄性筋萎縮症 | 0 | 0 | 0 |
| 48 | 球脊髄性筋萎縮症 | 1 | 1 | 1 |
| 49 | 慢性炎症性脱髄性多発神経炎 | 20 | 19 | 15 |
| 50 | 肥大型心筋症 | 3 | 2 | 3 |
| 51 | 拘束型心筋症 | 0 | 0 | 0 |
| 52 | ミトコンドリア病 | 3 | 3 | 2 |
| 53 | リンパ脈管筋腫症 | 2 | 2 | 2 |
| 54 | 重症多形滲出性紅斑 | 2 | 1 | 0 |
| 55 | 黄色靭帯骨化症 | 10 | 8 | 4 |
| 56 | 間脳下垂体機能障害 | 35 | 28 | 22 |
| 合計 | | 2,311 | 2,214 | 2,101 |

※46～56の疾患はH21.10.1から追加された疾患

2) 難病特別対策推進事業「難病在宅ケア事業」

(1) 在宅療養支援計画策定・評価事業

在宅の重症難病患者の療養を支援するため、関係機関と相互連携して評価及び課題の検討を行うことにより、地域支援体制充実を図りました。

① ケア検討会出席

| 事例 | 検討内容 | 回数 | 出席者 |
|-----------|-----------------------|----|---|
| 筋萎縮性側索硬化症 | 患者の病状・身体症状ケア、支援者間の連携等 | 12 | 地域主治医、看護師、ケアマネージャー、訪問看護師、ヘルパー、保健師、(家族)等 |

② ケース検討会

| 事例疾患 | 検討内容 | 出席者 |
|-----------|-------------|---|
| 筋萎縮性側索硬化症 | 支援者間での情報共有等 | ケアマネージャー、訪問看護師、ヘルパー、理学療法士、三重県難病医療専門員、患者家族、保健師 |

(2) 訪問相談事業

在宅の重症難病患者・家族の精神的負担の軽減を図り不安を緩和し、地域の関係職種・機関が連携し、包括的な在宅支援を行える体制を整えるため、訪問、電話相談を行いました。

① 家庭訪問

| | 病名 | 実人数 | 延人数 |
|----------|-----------|-----|-----|
| 平成 24 年度 | 筋萎縮性側索硬化症 | 5 | 7 |
| | パーキンソン病 | 1 | 1 |
| | スモン | 1 | 1 |
| | 計 | 7 | 9 |
| 平成 23 年度 | 筋萎縮性側索硬化症 | 8 | 11 |
| | パーキンソン病 | 1 | 1 |
| | 脊髄小脳変性症 | 1 | 1 |
| | 計 | 10 | 13 |
| 平成 22 年度 | 筋萎縮性側索硬化症 | 5 | 5 |
| | スモン | 2 | 2 |
| | 計 | 7 | 7 |

② 来所相談

| | 実人数 | 延人数 |
|----------|-----|-----|
| 平成 24 年度 | 17 | 28 |
| 平成 23 年度 | 65 | 71 |
| 平成 22 年度 | 25 | 36 |

③電話相談

| | 実人数 | 延人数 |
|----------|-----|-----|
| 平成 24 年度 | 18 | 52 |
| 平成 23 年度 | 18 | 53 |
| 平成 22 年度 | 23 | 57 |

(3) 訪問看護師等育成事業

在宅支援に関わる関係機関が難病支援の理解と資質向上を図るため、研修及び情報交換を行いました。

難病研修

| 日時・場所 | 内容 | 対象者 | 参加数 |
|--|--|--|------|
| 平成 25 年 2 月 25 日(月) 14:00~14:20 総合会館 8 階 | < 講義 > ① 難病の特徴 ② 難病対策として取り上げる疾患 ③ 特定疾患治療研究事業について ④ 介護保険と特定疾患 ⑤ 難病相談・支援センターの業務 | 四日市介護サービス事業者連合会(居宅部会)、在宅介護支援センター連絡協議会のケアマネージャー | 91 名 |

3) 災害時訓練への支援

医療依存度の高い在宅療養患者の生命を維持するため、近隣の住民による円滑な支援ができるよう避難訓練を行いました。

| 日時・場所 | 内容 | 参加者数 |
|---|--|------|
| 平成 24 年 11 月 25 日(日) 9:00~11:50 波木南台集会所 | (1) 講義 「医療依存度の高い在宅療養患者の避難支援について」 講師 笹川内科胃腸科クリニック 山中 賢治院長 (2) 災害時要援護者を想定した地域支援者との避難模擬訓練 | 41 名 |

参加者：地域支援者（自治会長、地域支援者、地区防災担当）、在宅サービス関係機関（ヘルパー）、地域医、市危機管理室、市保健所 など

感染症対策

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(感染症法という。)に基づき、感染症の発生予防及び感染防止拡大に努め、その患者に対し、人権に配慮した適切な医療を提供するための必要な措置を行い、感染症対策を推進しました。

また、発生動向調査により感染症情報を定期的に収集分析し、関係機関及び市民に情報提供を行いました。

1) 感染症発生動向調査（感染症サーベイランスシステム）

感染症発生動向調査(感染症サーベイランスシステム:全国規模で情報を迅速に収集、分析、公開するオンラインシステム)を利用して、発生情報を国及び三重県に報告すると共に、感染症発生動向情報を受信し、ホームページにより市民に情報提供しました。

2) 感染症患者の発生状況

(1) 一類・二類・三類感染症発生状況（二類：結核以外） (件)

| | 病名 | 平成24年度 | 平成23年度 | 平成22年度 |
|-------|-------------|--------|--------|--------|
| 三類感染症 | 腸管出血性大腸菌感染症 | 16 | 14 | 38 |
| | 細菌性赤痢 | 1 | — | — |

※一類・二類（結核以外）感染症の発生なし

(2) 四類・五類感染症発生状況（全数報告対象疾患のうち届出のあったもの） (件)

| | 病名 | 平成24年度 | 平成23年度 | 平成22年度 |
|--------------------|----------------|--------|--------|--------|
| 四類感染症 | ツツガムシ病 | — | — | 4 |
| | デング熱 | 1 | — | — |
| | レジオネラ症 | 1 | — | 5 |
| 五類感染症 | アメーバ赤痢 | 1 | 2 | 2 |
| | 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 | — | 1 | 1 |
| | 後天性免疫不全症候群 | 6 | 2 | 2 |
| | 梅毒 | 4 | 2 | 1 |
| | 破傷風 | — | — | 1 |
| | 急性脳炎 | 1 | — | — |
| | 風しん | 13 | 1 | — |
| 新型インフルエンザ (A/H1N1) | | — | — | 5 |

※インフルエンザ A/H1N1 型は、平成23年3月31日を持って「新型インフルエンザ等感染症」でなくなり、季節性インフルエンザの扱いとなりました。

(3) 行政検査実施状況

腸管出血性大腸菌感染症、細菌性赤痢、ノロウイルス以外は、三重県保健環境研究所にて実施しました。

(件)

| 病名 | 平成24年度 | 平成23年度 | 平成22年度 |
|-----------------|--------|--------|--------|
| 腸管出血性大腸菌感染症 | 58 | 59 | 173 |
| 鳥インフルエンザ (H5N1) | — | — | — |
| 麻しん | 2 | — | — |
| デング熱 | — | — | — |
| ツツガムシ病（日本紅斑熱） | — | — | — |
| マラリア | 2 | — | — |
| ライム病 | — | — | — |
| 細菌性赤痢 | 8 | — | — |
| 薬剤耐性緑膿菌感染症 | — | — | 2 |
| ノロウイルス | 10 | 7 | 6 |

(4) 社会福祉施設等における発生状況

社会福祉施設等からの感染症発生の報告に対し、調査及び指導等を行いました。

(件)

| 施設種別 | 病名 | 平成24年度 | 平成23年度 | 平成22年度 |
|--------|---------|--------|--------|--------|
| 社会福祉施設 | 感染性胃腸炎 | 7 | 2 | 3 |
| | インフルエンザ | 1 | — | — |
| 医療機関 | 感染性胃腸炎 | 1 | — | — |
| 学校 | 感染性胃腸炎 | 1 | 1 | — |

3) 衛生教育

感染症予防のための広報、ホームページ掲載、チラシの配布を行いました。自治会や企業、各種団体からの依頼により感染症予防のための健康教育を実施しました。

また、福祉施設職員の感染症の及び食中毒の予防に対する意識を高め、正しい知識を日々の業務に活かすことにより、感染症発生時の拡大防止を図るため、介護・高齢福祉課の協力のもと、感染症研修会を行いました。

| | 平成24年度 | 平成23年度 | 平成22年度 |
|-----|------------------------|--------|--------|
| 回数 | 46 | 46 | 39 |
| 延人員 | 1,226 (下記の感染症研修会含む) | 1,092 | 1,114 |

感染症研修会

| 日時・場所 | 内容 | 対象者 | 参加数 |
|---|--|---------------------------------|-----|
| 平成24年11月20日(火) 14:00～16:00 総合会館8階 | 【講義】 1. 「食中毒の予防対策について (二次汚染の防止を中心に)」 担当：衛生指導課職員 2. 「施設内における 感染症対策について」 担当：保健予防課職員 【講義演習】 「吐物の飛散実験」 | 高齢者福祉施設職員のうち、感染症・食中毒対策の中心となる方ほか | 62名 |

4) 特定感染症検査 (HIV 除く) の実施

(件)

| | 平成24年度 | | | 平成23年度 | | | 平成22年度 | | |
|------|--------|-----|-----|--------|-----|-----|--------|-----|-----|
| | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 |
| 梅毒 | 381 | 253 | 128 | 366 | 239 | 127 | 491 | 269 | 222 |
| B型肝炎 | 386 | 257 | 129 | 366 | 237 | 129 | 489 | 276 | 213 |
| C型肝炎 | 388 | 259 | 129 | 367 | 238 | 129 | 484 | 269 | 215 |

※B型肝炎・C型肝炎検査：保健所内での実施分

5) B型・C型ウイルス性肝炎治療費助成受給者証認定状況

B型肝炎及びC型肝炎ウイルスの除去を目的に行うインターフェロン治療並びに核酸アナログ製剤治療に対して、医療費の自己負担分の一部を公費で助成する制度について、申請の受付、三重県桑名保健福祉事務所への経由事務を行いました。

年度末現在認定者数（人）

| | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 | 平成 22 年度 |
|------|----------|----------|----------|
| 認定者数 | 215 | 160 | 223 |

エイズ対策

感染者や患者への差別や偏見をなくすための知識普及と早期診断のための検査と相談を行いました。

1) 保健所における HIV 抗体検査数 (件)

| | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 | 平成 22 年度 |
|--------|----------|----------|----------|
| 検査数 | 389 | 371 | 498 |
| (夜間再掲) | 123 | 103 | 122 |

2) 相談件数

(件)

| | 平成 24 年度 | | 平成 23 年度 | | 平成 22 年度 | |
|----|----------|----|----------|----|----------|----|
| | 電話 | 来所 | 電話 | 来所 | 電話 | 来所 |
| 相談 | 129 | 0 | 174 | 2 | 208 | 1 |

※検査来所時の相談は含まず

3) 啓発活動

(1) HIV 検査普及週間（6/1～6/7）に合わせた啓発活動

①夜間検査増設と時間延長

検査実施日： 6月 6日（水） 18：00～20：00

結果報告日： 6月13日（水） 18：00～20：00

②広報よっかいち 5月下旬号外国語（ポルトガル語）広報に掲載

③ホームページ掲載（保健所）

④FM よっかいち、CTY にて放送

(2) 世界エイズデー（12/1）に合わせた啓発活動を実施

①夜間検査増設と時間延長

検査実施日： 12月 5日（水） 18：00～20：00

結果報告日： 12月12日（水） 18：00～20：00

②広報よっかいち 11月下旬号外国語（ポルトガル語）広報に掲載

③ホームページ掲載（保健所）

④街頭啓発実施 ※四日市看護医療大学学生と共同

- 実施日 : 12月1日 14時から(1時間程度)
 実施場所 : 四日市ふれあいモールにてキャンペーン
 啓発グッズ: ティッシュ(2000個)及びスティックカフェオレ(1500個)配布
- ⑤「世界エイズデー」ポスター掲示・配布(配布先: 市内学校、各地区市民センター等)
- ⑥拠点病院(県立総合医療センター)1階ロビーにて啓発パネル掲示
 啓発グッズ: ティッシュ500個及び啓発チラシ、啓発パンフレット配布
- ⑦「人権フェスタ2012」でのパネル展示 12月1日(土)～12月2日(日)
- ⑧CTYにて放送
- ⑨企業へ啓発リーフレットの配布

(3) その他

- ①各高校へむけて、ポスターコンクールの案内及びHIVの情報提供、HIV啓発パネル貸出についてのチラシを配布
- ②四日市看護医療大学実習にてHIV啓発チラシを配布
- ③企業、医療機関に啓発ポスターを配布
- ④各市民センター、大学、専修学校に啓発ポスター、検査日が掲載されたカードを配布

医療費助成

1) 未熟児養育医療(未熟児対策)

出生時体重2,000g以下の新生児、その他入院養育を必要とする未熟児に対して、指定医療機関での医療に対し給付を行いました。

| | 申請・給付件数 |
|--------|---------|
| 平成24年度 | 78 |
| 平成23年度 | 86 |
| 平成22年度 | 81 |

2) 自立支援医療(育成医療)

本制度は、身体に障害や疾患があり、手術等の医療により、確実な治療効果が期待される児童に対して、指定医療機関での医療に対し給付を行うため、受給資格の認定を行いました。

| | 申請件数 |
|--------|------|
| 平成24年度 | 132 |
| 平成23年度 | 126 |
| 平成22年度 | 122 |

3) 小児慢性特定疾患治療研究事業

小児慢性疾患のうち、国が指定した11の特定疾患に対して、指定医療機関での医療に対

し給付を行うため、申請の受付、三重県桑名保健福祉事務所への経由事務を行いました。

年度末現在認定者数（人）

| | 平成 24 年度 | 平成 23 年度 | 平成 22 年度 |
|---------------|----------|----------|----------|
| 総 数 | 263 | 255 | 242 |
| 1 悪性新生物 | 30 | 32 | 34 |
| 2 慢性腎疾患 | 26 | 26 | 24 |
| 3 慢性呼吸器疾患 | 11 | 7 | 7 |
| 4 慢性心疾患 | 39 | 39 | 39 |
| 5 内分泌疾患 | 75 | 74 | 67 |
| 6 膠原病 | 9 | 7 | 6 |
| 7 糖尿病 | 16 | 14 | 12 |
| 8 先天性代謝異常 | 9 | 10 | 12 |
| 9 血友病等血液・免疫疾患 | 14 | 13 | 10 |
| 10 神経・筋疾患 | 20 | 19 | 18 |
| 11 慢性消化器疾患 | 14 | 14 | 13 |

食肉検査

1) と畜検査

と畜場法第 14 条に基づき四日市市食肉センターに搬入された牛、豚などの全頭検査を実施しました。精密検査が必要な場合は、枝肉内臓等を保留して病理、微生物、理化学等の検査を実施し合否判定を行いました。

と畜検査頭数

| 年 度 | 牛（頭） | 豚（頭） |
|----------|----------------|--------|
| 平成 24 年度 | 5,284（とく※ 9含む） | 83,897 |

※とく…1歳未満の牛のこと

2) 食鳥検査（立入検査）

食鳥処理事業の規制及び食鳥検査に関する法律第 38 条に基づき、認定小規模処理施設で処理される食鳥肉における安全性の確保並びに処理施設の監視指導を行いました。

| | 平成 24 年度 |
|----------------|----------|
| 認定小規模処理施設数(ヶ所) | 6 |
| 監視件数(件) | 14 |
| 収去検査件数(件) | 8 |

3) 食肉安全対策

と殺・解体工程、枝肉及び冷蔵庫等の細菌汚染調査を行い検査結果に基づき、と畜場の衛生指導及び従業員の衛生教育(衛生講習会)を年 2 回実施しました。

(件)

| 検査項目 | 平成24年度 |
|----------------|--------|
| 腸管出血性大腸菌（O157） | 102 |
| サルモネラ | 193 |
| 一般生菌数 | 307 |
| 大腸菌群数 | 307 |
| 合計 | 909 |

試験検査

1) 牛海綿状脳症（BSE）検査

と畜場に搬入された全ての牛についてBSEの検査を実施しました。

2) 畜水産食品残留有害物質検査

食肉及び鶏肉の残留抗菌性物質等の検査を実施し、安全な食肉の供給を図っています。

(件)

| 検査項目 | 平成24年度 |
|-----------|--------|
| 抗生物質 | 425 |
| 合成抗菌剤 | 27 |
| テトラサイクリン類 | 27 |
| 内部寄生虫薬 | 25 |
| 農薬 | 5 |
| 合計 | 509 |

衛生検査

1) 食品衛生関連検査

○食品収去 規格基準検査(生食用魚介類、魚肉練り製品、生食用かき、食肉製品、冷凍食品)

○食品収去 指導基準検査(豆腐、生菓子、調理ご飯、調理パン、惣菜)

| 検体種別 | 検体数 | 検査項目数 | 内訳 | | | | | | | | |
|--------|-----|-------|-------|------|-----|---------|-------|------|-------------|------------|-----|
| | | | 一般細菌数 | 大腸菌群 | 大腸菌 | 黄色ブドウ球菌 | サルモネラ | ビブリオ | ビブリオ 最確数 | 大腸菌 最確数 | 芽胞菌 |
| 生食用魚介類 | 10 | 30 | 10 | 0 | 10 | 0 | 0 | 0 | 10 | 0 | 0 |
| 生食用かき | 2 | 6 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 |
| 魚肉練り製品 | 10 | 10 | 0 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 食肉製品 | 10 | 26 | 0 | 3 | 10 | 5 | 5 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| 冷凍食品 | 10 | 20 | 10 | 7 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 豆腐 | 10 | 20 | 10 | 0 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 生洋菓子 | 20 | 80 | 20 | 20 | 0 | 20 | 20 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 生和菓子 | 30 | 90 | 30 | 30 | 0 | 30 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 調理ご飯 | 40 | 160 | 40 | 0 | 40 | 40 | 40 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 漬物 | 10 | 20 | 0 | 0 | 10 | 0 | 0 | 10 | 0 | 0 | 0 |
| 生めん | 9 | 27 | 9 | 0 | 9 | 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ゆでめん | 11 | 33 | 11 | 11 | 0 | 11 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 惣菜 | 90 | 360 | 90 | 0 | 90 | 90 | 90 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 262 | 882 | 232 | 81 | 182 | 205 | 155 | 10 | 12 | 2 | 3 |

※大腸菌とは、糞便の汚染指標菌の一種。

※黄色ブドウ球菌とは、食品衛生管理の汚染指標菌の一種。

※サルモネラとは、卵、食肉等の食品衛生管理の汚染指標菌の一種。

※ビブリオとは、魚介類等の食品衛生管理の汚染指標菌の一種。

○食中毒及び有症苦情の微生物検査

| 月 | 日 | 検出菌またはウイルス他 | 検査実施数 | 内 訳 | | | | |
|----|----|---------------------|-------|-----|----|----|-----|----|
| | | | | 食品 | 便 | 吐物 | フケリ | 菌株 |
| 4 | 12 | ノロウイルス GⅡ | 4 | | 4 | | | |
| | 13 | ノロウイルス GⅡ | 18 | | 1 | | | |
| | 27 | ノロウイルス GⅡ | 36 | | 2 | | | |
| 6 | 21 | 陰性 | 54 | | 3 | | | |
| | 25 | ロタウイルス | 60 | | 2 | 1 | | |
| | 26 | ロタウイルス | 40 | | 2 | | | |
| | 27 | 陰性 | 19 | | 1 | | | |
| | 27 | カンピロバクタ・ジェジュニ | 17 | | 1 | | | |
| 8 | 25 | 陰性 | 12 | 2 | | | 10 | |
| | 27 | 陰性 | 4 | | 4 | | | |
| | 28 | 腸管出血性大腸菌 0157 | 1 | | 1 | | | |
| | 28 | 陰性 | 1 | | 1 | | | |
| | 29 | 陰性 | 1 | | 1 | | | |
| 9 | 1 | 腸管出血性大腸菌 0157 遺伝子検索 | 8 | | | | | 8 |
| | 5 | 陰性 | 19 | | 1 | | | |
| | 5 | 陰性 | 38 | | 2 | | | |
| | 5 | 陰性 | 38 | | 2 | | | |
| | 27 | 陰性 | 18 | | 1 | | | |
| 10 | 4 | ノロウイルス GⅡ | 54 | | 3 | | | |
| | 4 | 陰性 | 36 | | 2 | | | |
| | 5 | ノロウイルス GⅡ | 2 | | 2 | | | |
| | 6 | 陰性 | 12 | | 12 | | | |
| | 8 | ノロウイルス GⅠ, GⅡ | 1 | | 1 | | | |
| | 8 | 陰性 | 1 | | 1 | | | |
| | 9 | 陰性 | 1 | | 1 | | | |
| 11 | 21 | ノロウイルス GⅡ | 252 | | 14 | | | |
| | 23 | ノロウイルス GⅡ | 3 | | 3 | | | |
| 12 | 5 | 陰性 | 54 | 2 | 1 | | | |
| | 12 | ノロウイルス GⅡ | 36 | | 2 | | | |
| | 13 | ノロウイルス GⅡ | 1 | | 1 | | | |
| | 14 | ノロウイルス GⅡ | 18 | | 1 | | | |
| | 22 | ノロウイルス GⅡ | 20 | | 1 | | | |
| 2 | 14 | ノロウイルス GⅠ, GⅡ | 36 | | 2 | | | |
| | 15 | ノロウイルス GⅡ | 1 | | 1 | | | |
| 合計 | | | 916 | 4 | 77 | 1 | 10 | |

※カンピロバクタ・ジェジュニとは、食肉（とくに鶏肉）等を原因食品とする食中毒起因菌の一種。

※サルモネラ・エンテリティディスとは、鶏卵関連食品等を原因食品とする食中毒起因菌の一種。

※ノロウイルス GⅡとは、冬季に発生する感染性胃腸炎の原因ウイルスの一種。

○毒物迅速検査

| 月 | 日 | 材料 | 検査 項目数 | 内 訳 | | | | |
|-----|----|--------|-----------|-----------|------------|------|-----|------------------|
| | | | | ヒ素 化合物 | シアン 化合物 | 亜硝酸塩 | 硝酸塩 | コリンエステ ラーゼ阻害剤 |
| 3 | 25 | チョコレート | 5 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 合 計 | | | 5 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |

2) 感染症関連検査

○感染症血清学的検査

(件)

| 月 | 検体数 | 検査実施数 | 内 訳 | | | | |
|----|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | | HIV | HBV | HCV | STS | TP |
| 4 | 32 | 154 | 30 | 32 | 32 | 30 | 30 |
| 5 | 43 | 215 | 43 | 43 | 43 | 43 | 43 |
| 6 | 38 | 190 | 38 | 38 | 38 | 38 | 38 |
| 7 | 40 | 193 | 39 | 39 | 39 | 38 | 38 |
| 8 | 28 | 134 | 28 | 27 | 27 | 26 | 26 |
| 9 | 33 | 165 | 33 | 33 | 33 | 33 | 33 |
| 10 | 30 | 143 | 29 | 28 | 30 | 28 | 28 |
| 11 | 30 | 146 | 30 | 29 | 29 | 29 | 29 |
| 12 | 32 | 156 | 32 | 31 | 31 | 31 | 31 |
| 1 | 30 | 144 | 30 | 29 | 29 | 28 | 28 |
| 2 | 25 | 125 | 25 | 25 | 25 | 25 | 25 |
| 3 | 32 | 160 | 32 | 32 | 32 | 32 | 32 |
| 合計 | 393 | 1925 | 389 | 386 | 388 | 381 | 381 |

○感染症発生時及び検疫通報時の防疫検査

(件)

| 月 | 検査実施数 | 項 目 | | | 検体種別 | |
|----|-------|----------|--------|----|------|----|
| | | 腸管出血性大腸菌 | ノロウイルス | 赤痢 | 便 | 菌株 |
| 4 | 6 | 0 | 5 | 1 | 6 | 0 |
| 5 | 8 | 8 | 0 | 0 | 7 | 1 |
| 6 | 6 | 6 | 0 | 0 | 6 | 0 |
| 7 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 |
| 8 | 22 | 22 | 0 | 0 | 21 | 1 |
| 9 | 17 | 17 | 0 | 0 | 17 | 0 |
| 11 | 6 | 0 | 0 | 6 | 5 | 1 |
| 12 | 5 | 0 | 5 | 0 | 5 | 0 |
| 1 | 3 | 3 | 0 | 0 | 3 | 0 |
| 2 | 2 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 |
| 計 | 76 | 58 | 10 | 8 | 73 | 3 |

国民健康保険

● 事業の概要

本市の国民健康保険は、地域医療保険として市民の健康保持と福祉の向上に大きな役割を果たしてきました。しかし、高齢化の進行と増加する医療費、また他の保険と比較して年金受給者や低所得者の加入割合も高いため、国民健康保険の財政はひっ迫した状況にあります。

このような中、自らの健康に関心をもち、健康な毎日を送っていただくために、特定健康診査及び特定保健指導の周知に努め、受診率等の向上に取り組むとともに、脳ドックや市の健康づくり課が実施する各種がん検診などへの助成を行い、生活習慣病などの疾病予防活動を進め、国保加入者の健康維持、向上に努めています。

● 平成 25 年度当初予算

(単位：千円)

| 歳入 | | 歳出 | |
|-----------|------------|-----------|------------|
| 国民健康保険料 | 7,616,382 | 総務費 | 250,520 |
| 一部負担金 | 4 | 保険給付費 | 19,761,653 |
| 国庫支出金 | 5,552,509 | 後期高齢者支援金等 | 3,394,585 |
| 療養給付費等交付金 | 1,037,617 | 前期高齢者納付金等 | 3,799 |
| 前期高齢者交付金 | 7,734,721 | 老人保健拠出金 | 178 |
| 県支出金 | 1,054,926 | 介護納付金 | 1,579,452 |
| 共同事業交付金 | 3,541,410 | 共同事業拠出金 | 3,537,878 |
| 財産収入 | 1,020 | 保健事業費 | 309,564 |
| 繰入金 | 2,237,050 | 基金積立金 | 1,020 |
| 繰越金 | 50,001 | 公債費 | 100 |
| 諸収入 | 44,360 | 諸支出金 | 28,251 |
| | | 予備費 | 3,000 |
| 合 計 | 28,870,000 | 合 計 | 28,870,000 |

● 加入状況

(各年度末現在)

| 年度 | 人口 | 世帯数 | 国保 世帯数 | 被保険者数 | | |
|------|---------|---------|-----------|--------|-------|--------|
| | | | | 一般 | 退職者 | 合計 |
| H 20 | 313,963 | 126,231 | 42,927 | 71,976 | 4,254 | 76,230 |
| H 21 | 313,890 | 127,082 | 42,401 | 69,993 | 4,517 | 74,510 |
| H 22 | 314,162 | 128,253 | 42,369 | 68,903 | 4,951 | 73,854 |
| H 23 | 313,683 | 129,102 | 42,494 | 68,218 | 5,246 | 73,464 |
| H 24 | 312,856 | 130,012 | 42,665 | 68,047 | 4,673 | 72,720 |

● 保険給付状況（実績）

| 年度 | | 一人当たり 療養の給 付・療養費 用額 (円) | 療養の給付 療養費保険 者負担 (千円) | 高額療養費 高額介護合算療養費 | | 出産育児一時金 | | 葬祭費 | |
|---------|----|-------------------------------------|-------------------------------|--------------------|------------|-----------|------------|-----------|------------|
| | | | | 件数 (件) | 金額 (千円) | 件数 (件) | 金額 (千円) | 件数 (件) | 金額 (千円) |
| H 20 | 一般 | 266,976 | 14,095,360 | 22,531 | 1,451,235 | | | | |
| | 退職 | 509,618 | 1,695,408 | 3,388 | 218,364 | | | | |
| | 全体 | 281,479 | 15,790,768 | 25,919 | 1,669,598 | 393 | 139,110 | 519 | 25,950 |
| H 21 | 一般 | 282,412 | 14,685,040 | 25,878 | 1,596,589 | | | | |
| | 退職 | 369,992 | 1,209,705 | 1,282 | 127,949 | | | | |
| | 全体 | 287,802 | 15,894,745 | 27,160 | 1,724,538 | 361 | 143,110 | 434 | 21,700 |
| H 22 | 一般 | 295,783 | 15,061,672 | 26,442 | 1,711,641 | | | | |
| | 退職 | 351,354 | 1,203,477 | 1,477 | 159,046 | | | | |
| | 全体 | 299,425 | 16,265,149 | 27,919 | 1,870,687 | 324 | 135,300 | 432 | 21,600 |
| H 23 | 一般 | 305,316 | 15,341,783 | 27,303 | 1,733,235 | | | | |
| | 退職 | 360,724 | 1,381,127 | 1,690 | 186,196 | | | | |
| | 全体 | 309,404 | 16,722,910 | 28,993 | 1,919,431 | 350 | 146,460 | 446 | 22,300 |
| H 24 | 一般 | 313,116 | 15,639,702 | 29,691 | 1,905,531 | | | | |
| | 退職 | 355,974 | 1,318,728 | 1,717 | 177,052 | | | | |
| | 全体 | 316,196 | 16,958,430 | 31,408 | 2,082,583 | 328 | 137,130 | 426 | 21,300 |

療養の給付 — 医師が診療を必要と認めた治療費の現物給付（業務上の疾病を除く）。

診療、薬剤、治療材料、処置、その他の治療、看護。

療養費 — 緊急その他やむを得ない事情で療養の給付を受けることが困難な場合等の給付。保険証が使えなかったとき、柔道整復師・鍼灸マッサージの施術、看護、移送、治療用装具。

高額療養費 — 医療費負担が一定の限度額を超えたとき、申請により、超えた額を支給（該当者には事前に通知）。

高額介護合算療養費

— 医療保険と介護保険それぞれの限度額を適用後の年間の合計自己負担額が一定の限度額を超えたとき、超えた額を支給。

出産育児一時金 — 被保険者が出産したとき 420,000 円（産科医療補償制度対象外出産の場合 390,000 円）を支給。

葬祭費 — 被保険者が死亡したとき 50,000 円を葬祭執行者に支給。

● 保険料賦課収納状況（平成 24 年度実績）

| | | 年 間 | | | |
|-----------------|-------|-------------------------------------|-------------|-------------|-----------|
| | | 医 療 分 | 後 期 支 援 分 | 介 護 分 | |
| 賦 課 期 日 | | 4 月 1 日 | | | |
| 保 険 料 率 | 所 得 割 | 1000 分 の 77 | 1000 分 の 14 | 1000 分 の 22 | |
| | 均 等 割 | 33,000 円 | 6,800 円 | 9,900 円 | |
| | 平 等 割 | 24,000 円 | 4,900 円 | 7,200 円 | |
| 保 険 料 最 高 限 度 額 | | 510,000 円 | 140,000 円 | 120,000 円 | |
| 納 付 回 数 ・ 納 期 日 | | 9 回 ・ 毎 月 末 （ 1 2 月 の み 2 5 日 ） | | | |
| 納 付 方 法 | | 自 主 納 付 ・ 口 座 振 替 ・ 特 別 徴 収 （ 年 金 ） | | | |
| 保 険 料 年 平 均 負 担 | | 1 世 帯 当 たり | 188,676 円 | 1 人 当 たり | 110,012 円 |
| | | （ 医 療 分 ） | 143,322 円 | | 83,568 円 |
| | | （ 後 期 分 ） | 28,505 円 | | 16,621 円 |
| | | （ 介 護 分 ） | — | | 27,520 円 |

● 保険料軽減状況＜医療分＞（平成 24 年度実績）

- 7 割軽減……前年所得が 33 万円以下の世帯に対し保険料の均等割及び平等割の 7 割を減額
10,414 世帯 14,604 人 504,756,000 円
- 5 割軽減……前年所得が 33 万円+24.5 万円×被保険者数(納付義務者を除く)以下の世帯に
対し、保険料の均等割及び平等割の 5 割を減額
1,708 世帯 4,174 人 87,927,000 円
- 2 割軽減……前年所得が 33 万円+35 万円×被保険者数以下の世帯に対し、保険料の均等割
及び平等割の 2 割を減額
4,755 世帯 8,498 人 77,403,600 円

● 保険料軽減状況＜後期支援分＞（平成 24 年度実績）

- 7 割軽減……前年所得が 33 万円以下の世帯に対し保険料の均等割及び平等割の 7 割を減額
10,414 世帯 14,604 人 103,693,275 円
- 5 割軽減……前年所得が 33 万円+24.5 万円×被保険者数(納付義務者を除く)以下の世帯に
対し、保険料の均等割及び平等割の 5 割を減額
1,708 世帯 4,174 人 18,082,200 円
- 2 割軽減……前年所得が 33 万円+35 万円×被保険者数以下の世帯に対し、保険料の均等割
及び平等割の 2 割を減額
4,755 世帯 8,498 人 15,909,460 円

● 保険料軽減状況＜介護分＞（平成 24 年度実績）

- 7 割軽減……前年所得が 33 万円以下の世帯に対し保険料の均等割及び平等割の 7 割を減額
4,779 世帯 5,332 人 61,036,920 円
- 5 割軽減……前年所得が 33 万円+24.5 万円×被保険者数(納付義務者を除く)以下の世帯に
対し、保険料の均等割及び平等割の 5 割を減額
947 世帯 1,323 人 9,958,050 円
- 2 割軽減……前年所得が 33 万円+35 万円×被保険者数以下の世帯に対し、保険料の均等割
及び平等割の 2 割を減額
2,186 世帯 2,757 人 8,606,700 円

● 保健事業

①特定健康診査・特定保健指導

……………「高齢者の医療の確保に関する法律」の改正により医療保険者に実施が義務付けられた特定健康診査及び特定保健指導を平成 20 年度から実施

特定健康診査…生活習慣病の発症原因とされるメタボリックシンドロームに着目した健康診査
(対象年齢 40～74 歳)

| 年 度 | H 21 | H 22 | H 23 | H 24 | H 25 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 目標受診率 | 53.1 % | 60.0 % | 63.7 % | 65.0 % | 48.0 % |
| 受診率 | 39.8 % | 40.3 % | 44.6 % | 42.9% | |

(※目標受診率は H29 までに 60%となるよう、H25 からの「第 2 期特定健康診査等実施計画」で改定。受診率は法定報告より。)

特定保健指導…特定健康診査の結果により健康の保持に努める必要がある者に対し、生活習慣を改善するための保健指導で、改善の必要度に応じ「動機づけ支援」「積極的支援」を実施

| 年 度 | H 21 | H 22 | H 23 | H 24 | H 25 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 目標実施率 | 30.0 % | 35.0 % | 40.0 % | 45.0 % | 27.0 % |
| 実施率 | 29.7 % | 13.4 % | 18.7 % | 20.2% | |

(※目標実施率は H29 までに 60%となるよう、H25 からの「第 2 期特定健康診査等実施計画」で改定。実施率は法定報告より。)

②脳ドック……………脳梗塞や脳卒中の脳疾患の予防と早期発見を狙いとして、脳ドック受診者に対して助成

| 年 度 | H 20 | H 21 | H 22 | H 23 | H 24 |
|------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 受診者数 | 77 人 | 93 人 | 144 人 | 116 人 | 117 人 |
| 補助額 | 10,000 円 | 10,000 円 | 10,000 円 | 10,000 円 | 10,000 円 |

③がん検診等の一部負担金助成

……………疾病の予防、早期発見・早期治療を目的として健康づくり課が実施する各種がん検診及び歯科検診を、四日市市国民健康保険の被保険者が受診する場合に一部負担金助成を実施

後期高齢者医療制度

● 事業の概要

後期高齢者医療制度は、75歳以上の人（障害認定を受けた65歳以上75歳未満の人で、希望する人を含む）が、病気やけがをしたときに必要な給付を受けるための医療制度として、平成20年4月から発足しました。都道府県ごとに全市町村が参加する後期高齢者医療広域連合により運営されています。また、参加市町村も、後期高齢者医療保険加入者の窓口として、一部業務を担当しています。

三重県後期高齢者医療広域連合

……資格の管理、医療を受けたときの給付、保険料の賦課及び決定、保健事業等の業務
市町……保険料の徴収や資格給付に関する申請受付業務

● 平成25年度当初予算

(単位:千円)

| 歳入 | | 歳出 | |
|------------|-----------|----------------|-----------|
| 後期高齢者医療保険料 | 2,174,148 | 総務費 | 120,471 |
| 使用料及び手数料 | 1 | 後期高齢者医療広域連合納付金 | 4,784,776 |
| 寄付金 | 1 | 公債費 | 50 |
| 繰入金 | 2,715,179 | 諸支出金 | 5,203 |
| 繰越金 | 1 | 予備費 | 500 |
| 諸収入 | 21,670 | | |
| 合 計 | 4,911,000 | 合 計 | 4,911,000 |

● 加入状況

(各年度末現在)

| 年度 | 人口 | 世帯数 | 被保険者数 |
|------|---------|---------|--------|
| H 21 | 313,890 | 127,082 | 29,827 |
| H 22 | 314,162 | 128,253 | 31,068 |
| H 23 | 313,683 | 129,102 | 31,945 |
| H 24 | 312,856 | 130,012 | 32,941 |

国民年金

● 事業の概要

国民年金制度は、すべての国民を対象に、老齢、障害又は死亡による所得の喪失、減少により国民生活の安定が損なわれることを国民の共同連帯により防止し、健全な国民生活の維持及び向上に寄与することを目的とする公的年金制度として昭和34年に発足しました。

平成19年の年金記録問題を受け、公的年金制度の適正な運営と国民の信頼確保を図るため、社会保険庁が廃止され国（厚生労働大臣）から委任・委託を受けて、公的年金業務の運営を行う日本年金機構が平成22年1月に発足しました。

自分の年金記録に関心を持つ市民が今まで以上に増加し、また年齢や立場の違う市民ひとりひとりが今後の年金受給を真剣に考える意識が高まっています。年金係では、市民の年金権の確保のため、制度の周知と普及に努めています。

● 基礎年金

- ①老齢基礎年金……原則として最低25年の納付又は免除を要する
(年齢により短縮される)

平成25年10月～支給額 778,500円(満額)

- ②障害基礎年金……加入期間3分の2以上の納付又は免除を要する

平成25年10月～支給額
1級 973,100円
2級 778,500円

- ③遺族基礎年金……加入期間3分の2以上の納付又は免除を要する

平成25年10月～支給額

| | 妻に支給される額 | 子に支給される額 |
|--------|------------|------------|
| 子が1人の時 | 1,002,500円 | 778,500円 |
| 子が2人の時 | 1,226,500円 | 1,002,500円 |
| 子が3人の時 | 1,301,100円 | 1,077,100円 |

[3人目以降1人につき74,600円加算]

- ④寡婦年金……国民年金25年以上納付(又は免除)した夫が死亡した時、妻が60才から65才になるまで受給

平成25年度支給額 夫のうけるべき基礎年金額×3/4

- ⑤死亡一時金……老齢基礎年金や障害基礎年金を受けずに死亡し、遺族が遺族基礎年金を受けられない時

平成25年度支給額

| 保険料を納めた期間 | 金額 |
|----------------|----------|
| 36ヶ月以上180ヶ月未満 | 120,000円 |
| 180ヶ月以上240ヶ月未満 | 145,000円 |
| 240ヶ月以上300ヶ月未満 | 170,000円 |
| 300ヶ月以上360ヶ月未満 | 220,000円 |
| 360ヶ月以上420ヶ月未満 | 270,000円 |
| 420ヶ月以上 | 320,000円 |

● 被保険者の種類

- ・ 第1号被保険者（国民年金保険料を納める人）
自営業や農業など厚生年金、共済組合に加入していない人
- ・ 第2号被保険者（給料から年金保険料を天引）
サラリーマン、OLなど会社や役所へ勤務し、厚生年金、共済組合に加入している人
- ・ 第3号被保険者（国民年金保険料を払わなくても納付している扱いになる）
サラリーマンに扶養されている妻(又は夫)
(扶養されていない場合は、第1号被保険者となる)

● 国民年金保険料の推移

(単位：円)

| 年 度 | H 21 | H 22 | H 23 | H 24 | H 25 |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 保険料（月額） | 14,660 | 15,100 | 15,020 | 14,980 | 15,040 |

※付加年金加入者は400円加算

● 福祉年金

- ① 老齢福祉年金…明治44年4月1日以前生まれで公的年金を受けられない人が70才から受給
平成25年10月～支給額 398,800円
- ② 障害基礎年金…障害福祉年金から移行、受給権者の所得により全部支給停止の場合がある
平成25年10月～支給額
1級 973,100円
2級 778,500円

● 適用状況

(各年度末現在)

| 年度 | 第1号 被保険者 | 任意 加入者 | 第3号 被保険者 | 合計 | 保険料免除者 | |
|------|-------------|-----------|-------------|--------|--------|-------|
| | | | | | 法定 | 申請 |
| H 20 | 41,623 | 717 | 30,046 | 72,386 | 2,289 | 7,015 |
| H 21 | 41,461 | 696 | 29,525 | 71,682 | 2,446 | 7,861 |
| H 22 | 40,529 | 689 | 29,281 | 70,499 | 2,554 | 7,452 |
| H 23 | 39,491 | 638 | 28,825 | 68,954 | 2,654 | 7,926 |
| H 24 | 38,998 | 544 | 28,613 | 68,155 | 2,778 | 8,488 |